

入職経路と産業の地位達成への効果

—社会関係資本活用の有効性の検討*¹—

辻 竜平
(近畿大学)

【論文要旨】

本稿では、入職経路によって地位達成に有利／不利の違いがあるのか、また、産業によって入職経路と地位達成の関係に違いがあるのかを検討する。地位達成は、継続期間、収入、職業威信という3つの側面から検討することとし、入職経路は、10種類（分析に用いるのは、そのうち8種類）の分類を用いることとする。また、このような検討を行う中で、入職に社会関係資本を利用することが有利／不利なのかを考察する。2015年SSM調査のデータを分析した。まず、入職経路と産業の別に単純に地位達成に差があるのかを一要因分散分析で示し、その後、地位達成を従属変数とし、入力経路と産業の主効果、およびそれらの交互作用、個人属性を独立変数としたLSDV (least-squares dummy variables) 分析を行った。LSDVの結果、先行研究で指摘されていた「血縁関係」による入職の不利は解消されていた。「友人・知人」からの紹介による地位達成の程度は、「家族・親戚」からの紹介の場合とほとんど違いがみられなかった。転職後に「家業継承」した場合に、入職後の継続期間は長いが入収入は低いという、社会関係資本のダークサイドに陥ることを示唆するケースもあった。

キーワード：地位達成指標、入職経路の分類、入職経路と産業の交互作用、社会関係資本のダークサイド

1. 問題

1.1 入職経路は地位達成の差異をもたらすのか？ 社会関係資本の活用は有効か？

人びとは、どのようにして職を得るのか？ Blau and Duncan (1967) を端緒とする地位達成過程モデルは、親の学歴や職業が、本人の学歴や職業に影響を与えるというアイデアを基盤としている。このような地位達成過程モデルに対して、社会ネットワーク理論や社会関係資本論などは、労働市場の中に存在するさまざまな構造的要因の効果を検討しようとしてきた。本稿においては、その構造的要因について検討する。

構造的要因としては、ジョブマッチングという観点から論じられてきた。初職時においては、学校と企業との制度的連結（組織間の繰り返される選択的取引）が重要であるとされ（刈谷，1991；Kariya and Resenbaum (1995)）、日本においては、先輩リクルーターと後輩の関係も重要であるという（刈谷・沖津・吉原・近藤・中村，1992）。

一方、転職時においては人づてや縁故が重要であるとされてきた。グラノヴェッターは、アメリカにおける転職について、家族・親戚などの強い紐帯ではなく、知人（ときどき会う人

¹ 本研究は、JSPS 科研費 JP25000001 の助成を受けたものです。

やめつたに会わない人)などの弱い紐帯が、満足度や収入という点で有効であることを示した(Granovetter, 1973; 1974)。しかしながら、知人を通じて得た職業がなぜ有効なのか、そのメカニズムについては自明ではない。Lin, Ensel, and Vaughn (1981)は、ある個人が富や地位の高い他者(仲介者)とつながりを持っていることによって、地位の高い職業に就くことができるというメカニズムを提案した。ところが、弱い紐帯の有効性についても結果が一貫しないことがわかってきた。Marsden and Hurlbert (1988)によれば、本人の職業威信や収入を従属変数とする回帰分析では、紐帯の強弱はどちらの場合も効果が見られなかった。日本においては、むしろ強い紐帯の方が転職に有効であることが示された(渡辺, 1991)。佐藤(1998)は、1995年SSM調査データを用い、入職経路を、「学校関係」²、「個人的紐帯」³、「血縁関係」⁴、「直接参入」⁵(基準カテゴリ)の4つのカテゴリに分類し⁶、地位達成の指標として職業威信を従属変数とした分析を行った。初職の場合、男性では血縁関係に負の効果が、女性では個人的紐帯と血縁関係に負の効果がみられた。転職の場合、男性において、学校関係の正の効果がみられた。小林(2008)は、2005年SSM調査データを用い、佐藤(1998)に倣ったカテゴリを採用して分析を行った(ただし、学歴と入職経路の交互作用を加えて検討している)。初職の場合、学校関係に正の、血縁関係に負の、短大以上と個人的紐帯の交互作用に負の効果がみられた。転職の場合、入職経路にかかわる変数で5%水準で有意となるものはなかった。分析方法には違いがあるものの、1995年と2005年を比較すると、初職においては、血縁関係においていずれも負の効果がみられたが、転職においては一貫した傾向はみられなかったことになる。また、石田(2008)は、地位達成という文脈から少し外れて、入職経路と離職理由を独立変数とし、職業威信ないし仕事の満足感を従属変数とした分析——より一般的なネットワークの効果にかかわる分析——を行っている。

これらの研究をふまえ、本稿では、2015年SSM調査データの分析をとおして、最近の入職経路と地位達成との関係について再検討することにする。また、入職経路のうち、社会関係資本にかかわる経路に注目し、その有効性について考察する。

ところでここで、ジョブマッチングという考え方にかかわる問題点を指摘しておきたい。ジョブマッチングは、企業側⁷からすると、その企業において必要な技能や性質を持つ人材を

² 「学校関係」には、卒業学校の先輩、卒業学校または先生、が含まれる。

³ 「個人的関係」には、友人・知人の紹介、現在の従業先から誘われた、前の従業先の紹介、が含まれる。

⁴ 「血縁関係」には、家族・親戚の紹介、家業を継いだ、が含まれる。

⁵ 「直接参入」には、職業安定所、民間の職業紹介機関、求人広告等、自分ではじめた、が含まれる。

⁶ これ以外に、「複数選択」と「その他」のカテゴリがあるが、いずれも分析には入れていない。

⁷ ジョブマッチングは、必ずしも企業という雇用者と個人という被雇用者との間だけで生じるわけではない。自営や農業のように雇用—被雇用の関係がない場合もある。ここでは、簡単のため、企業との関係で説明しているが、雇用—被雇用の関係がない場合も含めて、個

適切に選択することである。ジョブマッチングがうまくいくと、その企業の業績は伸びるだろう。一方、個人からすると、ジョブマッチングがうまくいき、その個人がその企業で求められるような成果を上げ続けることができれば、その企業における在籍期間（継続期間）が長くなるし、収入も高くなるだろう。そのようなわけで、ジョブマッチングは、個人にとっては継続期間や収入と整合性の高い概念であると考えられる。

ところで、ジョブマッチングがうまくいくかどうかは、企業側と求職者（個人）との間にある学校などの組織や、家族・親戚や友人・知人などの人物が適切に媒介できるかどうかにかかるといえる。構造的要因とされているわけである。しかしながら、たとえば、儲からない家業を親から依頼されて継ぐような場合や、儲からない仕事でも職の紹介者に対する義理からやめるには忍びないような場合、継続期間は長くなるが、収入は低いままであり続けるということもありうる。単なる技能や性質のミスマッチであれば転職すればよいのかもしれないが、上の例のように、職探しにおいて、「家族・親戚」からの紹介、「友人・知人」からの紹介、「学校の先輩・先生・学校推薦」のうちインフォーマルな関係、「家業継承」という社会関係資本を媒介していることによって、悪条件にもかかわらず仕事を継続しつづけるならば、それはジョブマッチングにおける社会関係資本のダークサイドということもできよう⁸。このように考えると、継続期間の長さは、雇用の安定性という積極的な意味だけで捉えることは危険であることがわかる。

ところで、ここまでの簡単なレビューから、従来の研究にはいくつかの問題があることが指摘できる。以下では2つの問題を取り上げたい。

第1に、これまで、地位達成を示す指標として、継続期間、収入、職業威信などがバラバラに用いられてきたことである。それぞれの研究にとって適切な指標が選ばれてきたのだろうが、それらが一括して扱われてこなかったために、それらの相互の関係性がよくわかっていなかった。それらは確かに地位達成のそれぞれの側面ではあるだろう。それゆえに、それらは緩やかに正の関係性があると仮定されてきたのかもしれない。しかし、それは自明だろうか？ そうでないとしたら、地位達成を1つの指標で論じることは困難なのかもしれない。またそれが、結果の非一貫性を生んでいる可能性もある。これらの指標を一括して扱う必要性があるのではないか。

このうち、職業威信を地位達成指標として用いる場合、この概念が抽象的であるために、扱いにくいという問題がある。まず、職業を評価するための次元（側面）はいくつもあるはずなのに、そのような次元は集約され、全ての職業の威信が1次元上に表現されることであ

人が的確な職に就くためのすり合わせの機会という意味で使っている。

⁸ ただ、これも解釈は一様ではない。たとえば、どうしても就職先が見つからないような場合、収入は低くても安定的に家業を継ぐ方が、何もしないよりはマシということもありうるからである。

る。地位達成がある次元において行われることと別の次元において行われることは異なる事態であるにもかかわらず、その違いが捨象されてしまうのである。次に、職業威信を従属変数とした場合、継続期間や収入の場合と比べて、それが上昇ないし下降するメカニズムが特定しにくいという弱点がある。社会関係資本論の文脈では、たとえば Lin (2001 = 2008) は、「一般的社会関係資本」や「政治的社会関係資本」を独立変数、職業威信を従属変数とした分析を行っているが、2つの社会関係資本自体が合成変数であるために、これら自体が諸側面（次元）を持つこと、また、職業威信も既に指摘したように、複数の次元への評価を合成したものであり、具体的に社会関係資本のどの側面がどのように作用して職業にかかわるどの次元の評価が変化したのかが特定しにくいのである。本稿では、独立変数には抽象的な社会関係資本の指標は用いないが、それでも、職業威信には諸次元があるわけだから、メカニズムの解釈には注意を要する。

職業威信にはこういった問題があるものの、これまでの研究でしばしば利用されてきたこともあるので、比較のためにこれも検討することにする。そこで、本稿では、継続期間、収入、職業威信の3つの地位達成指標について検討することにする。このうち、職業威信と収入については、一方が高いと他方も高いという関係がある。これらは職業を通じた地位達成の第一義的な側面を表しているといえるだろう。一方、継続期間は、マッチングのよさを表す側面であると考えられる。つまり、マッチングがうまくいけば、人びとはその職業を継続することになる。すなわち、継続期間は、地位達成の安定性の側面を表していると考えられる。このように考えると、職業威信と収入は、継続期間とは概念的に別のことを表しているといってよい。実際に相関係数をみると、表1のようになり⁹、収入と職業威信でさえ、有意ではあるもののそれほど強い相関であるとはいえず、継続期間はほぼ無関係であるといってよい。これらのことから、地位達成という概念には、独立性の高い異質なサブ概念が含まれているといえる。

表1 地位達成指標間の相関係数

	継続期間	現在の収入	威信（入）	威信（現）
継続期間	1.000			
現在の給与・事業収入 (log)	-0.041 *	1.000		
職業威信（入職当時）	-0.018	0.106 ***	1.000	
職業威信（現在）	0.034	0.255 ***	0.409 ***	1.000

N = 2265, * p < .05, *** p < .001

⁹ 職業威信については、初職（かつ現職）であれ（転職後の）現職であれ、入職時と、現在において違うことがあるため、両方を示した。

表2 入職経路の分類

分類	内容（質問項目：面接票 問5）	佐藤（1998）による分類
家族・親戚	家族・親戚の紹介	血縁関係
友人・知人	友人・知人の紹介	個人的関係
学校の先輩・先生・学校推薦 ¹⁰	卒業した学校の先輩の紹介， 卒業した学校や先生の紹介（学校推薦も含む）	学校関係
求人機関・求人情報	職業安定所（ハローワーク）の紹介， 民間の職業紹介機関の紹介， 求人広告や雑誌などを見て直接応募した， 〔職安以外の公的機関〕	直接参入 ¹¹
家業継承	家業を継いだ（家業に入った）	血縁関係
起業	自分ではじめた	直接参入
勧誘・紹介	現在の従業先から誘われた，前の従業先の紹介	個人的関係
公務員試験・就職試験	〔公務員・就職試験受験〕	〔該当なし〕
複数経路 ¹²		複数経路
その他 ¹³		その他

従来の研究の第2の問題は、入職経路の分類の粗さである。佐藤（1998）は、先述のとおり、「学校関係」、「個人的関係」、「血縁関係」、「直接参入」、「複数選択」、「その他」に分類したうえで、「複数選択」と「その他」を除いた4カテゴリを分析に用いている。また、後続する研究においても、あまり省みられることなくこの分類は踏襲されてきている（小林，2008；石田，2008）。しかしながら、各カテゴリは、いずれも、もともと異なる質問項目で尋ねられ

¹⁰ 「卒業した学校の先輩の紹介」と「卒業した学校や先生の紹介（学校推薦も含む）」については、統合せざるをえなかった。後者は、学校、先生、学校推薦という、それぞれ異なる内容を含んでいる。「学校の紹介」というと、フォーマルで制度的連結の代表的なものだろう。先生からの紹介は、先生と企業間のインフォーマルだが強い関係性に基づいているだろう。学校推薦の内実は多様である。「学校の先輩の紹介」というのは、いわゆるリクルーターによって同じ専攻やゼミの学生を引き抜くわけだが、学校からの紹介に比べるとよりインフォーマルな関係に基づくものである。したがって、フォーマリティという観点からすれば、「卒業した学校の先輩の紹介」と「先生からの紹介」がよりインフォーマルな関係性に基づくという意味で同じカテゴリとし、それ以外とを分けたいが、あいにく「先生からの紹介」が他のフォーマルな関係と同じカテゴリに入ってしまうことから、そのような分類はできない。結果的に、「学校関係」を一まとめにしてしまうしかないと考えた。

¹¹ ただし、事後的にコーディングされた「職安以外の公的機関」は含まれない。

¹² 複数選択の項目なので、複数の選択がなされていた場合、その内実は多様かつ個別には少数なので、実際の分析には含まなかった。

¹³ 実際の分析には含まなかった。

たものが合成されている。これは、各カテゴリにおいて分析に足るだけの対象者数を確保するという観点からやむをえないところがあるのだが、表2に記すように、社会関係資本の効果や関係性のフォーマリティなどの観点から、各カテゴリの対象者数をある程度確保しながらも、より細分化した入職経路の分類を用いたい。

具体的には、次の表2のような分類を用いることとする¹⁴。「家族・親戚」と「友人・知人」は、紹介者に血縁関係があるかないかという点で異なっていること、いわゆる縁故採用において、前者が果たす役割が大きいと考えられることなどから、分けることとした。また、「家族・親戚」と「家業継承」は、前者が紹介によって実際には血縁関係のない従業先で働く可能性が高いのに対して、後者は血縁関係を基盤とした従業先で働くことになることから、分けることとした。「友人・知人」と「勧誘・紹介」については、前者がインフォーマルな関係からの紹介であるのに対して、後者が（ヘッドハンティングのような積極的なものであれ、左遷のような消極的なものであれ）よりフォーマルな関係による接触によることから、分けることにした。「求人機関・求人情報」と「起業」については、前者は自ら起業するという意味は通常含まないため、分けることにした。

1.2 産業別に検討することの意義

ここまで、入職経路と地位達成にかかわる議論とその問題点について述べてきた。しかしながら、入職経路と地位達成との関係は、産業別にみると、かなり違っているのではないかとと思われる。

まず、産業にかかわる現状を簡単に整理しておこう。たとえば、製造業においては、長期雇用の慣行があり、年功序列型賃金体系となっているとされる。一方、サービス業においては、雇用は短期的で、内部昇進の慣行がないとされる。長松（2016）は、「平成24年就業構造基本調査結果」を分析し、製造業における有期雇用比率が、男性が12.4%、女性が26.6%であるのに対し、宿泊・飲食サービス業では、男性が21.4%、女性が32.0%、生活関連サービス・娯楽業では、男性が22.4%、女性が26.6%、医療・福祉では、男性が18.3%、女性が25.9%である、などと報告している。女性については、一貫して有期雇用比率が高いが、男性については、製造業と他のサービス業では有期雇用比率に違いがある。また、日本では、他の先進諸国と比べるとなお製造業に就く者の比率は高いが、国勢調査によると、製造業の就業者の割合は1970年の26.1%をピークに、就業者数は1990年の1450万人をピークに減り続けており、2015年には956万人（16.2%）となっている。一方、第3次産業の就業者の割合は増加しており、2015年には71.0%に達しており、2010年から5.7ポイントも上昇してい

¹⁴ これらの項目は、2015年SSM調査「面接票」の問5（複数選択可）を分類したものである。調査の概要については、次節に示す。また、事後的にコーディングされた「公務員、就職試験受験」、「職安以外の公的機関」という追加項目も利用する。

る。サービス産業化が着実に進展しているといえる。全体として雇用が増えている産業と減っている産業があるのである。

このような状況を考えると、どの指標を用いるかにもよるが、入職経路と地位達成との関係についても、産業別に様相を異にしているのではないかと考えられる。しかしながら、入職経路と産業の違いによって地位達成にどのような効果があるのかについては、管見の限り日本においてそのような分析が行われたことはないように思われる。そこで、探索的に分析を試みたい。

ここまでの議論を整理して、これから先に本稿で扱う問題を提示する。ここまで、地位達成を、継続期間、収入、職業威信という3つの側面から検討することとし、入職経路を社会関係資本と関係のフォーマリティの観点から10種類（分析に用いるのは、そのうち8種類）に分類しなおした。これをふまえ、これから先は、入職経路によって地位達成に有利／不利があるのかを検討する。また、産業にも注目し、産業によって地位達成に有利／不利があるのかを検討する。さらには、特定の産業で特定の入職経路を経ることにより、地位達成の特定の側面に対して有利／不利になることがあるのかを検討する。また、このような検討を行う中で、社会関係資本を利用した入職が有利／不利なのかを考察する。

2. データと分析の手順

本稿で用いるデータは、「社会階層と社会移動全国調査（SSM 調査）」の2015年データ（第3次配布版）である。この調査は、全国の成人男女を対象とした無作為抽出法（層化多段・等間隔抽出法）による調査票調査（面接法と留置法の併用）であり、このうち面接票を分析対象とする。

この2015年SSM調査のデータに、2016年の通称「社会的地位科研」（JSPS 科研費 15H03414, 代表 元治恵子）で実施された「職業にかんする意識調査」によって測定された職業威信スコア（SSM15 メンバー配布用 職業威信スコア 2016年版暫定版（2017年11月2日修正版））をマージして用いる。

そのうち、初職を現在まで継続している人と、最も直近の転職を経て現在働いている人——以下、簡単のため、「初職」と「転職」と表記する——を分析対象とした。すなわち、いずれも現職ではあるが、それが初職の場合と転職後の場合とに分けて分析することとした。

主要な変数としては、以下のものを用いる。

- 継続期間：初職もしくは最も直近の転職で、かつ現職である場合において、入職時期から現在までの期間
- 収入：現在の収入のうち、給与や事業所得など働いて得た収入の自然対数値
- 職業威信（入職当時）：初職・転職にかかわらず、現職の入職当時の職業を威信スコアに

変換したもの

- 職業威信（現在）：初職・転職にかかわらず，現職の現在の職業を威信スコアに変換したもの

本稿では，まず，入職経路によって，初職と転職別，男女と全体別に，継続期間，収入，職業威信が異なるかどうかを，単純な一要因分散分析を用いて示す（3.1）．次に，産業によって，初職と転職別，男女と全体別に，継続期間，収入，職業威信が異なるかどうかを，単純な一要因分散分析を用いて示す（3.2）．その後，入職経路と産業，これらの交互作用項，個人属性を独立変数，雇用期間，収入，職業威信を従属変数とした分析を示す（3.3）．

3. 分析

3.1 入職経路と地位達成

初職と現職について，入職経路による地位達成の分析結果を表3～表10に示す．

表3 初職の入職経路とその継続期間

初職継続期間 初職入職経路	全体							男性							女性						
	Mean	SD	N	D1	D2	D3		Mean	SD	N	D1	D2	D3		Mean	SD	N	D1	D2	D3	
家族・親戚(1)	10.255	9.185	102					10.350	9.205	80					9.909	9.319	22				
友人・知人(2)	10.885	11.394	52					10.594	10.743	32					11.350	12.642	20				
学校の先輩・先生・学校推薦(3)	10.839	10.120	472					10.421	10.083	330					11.810	10.176	142				
求人機関・求人情報	8.547	8.283	307					9.044	8.732	181					7.833	7.569	126				
家業継承	30.378	18.610	111	***	***	***		29.941	18.973	85	***	***	***		31.808	17.655	26	***	***	***	
起業	22.913	13.790	23	***	***	***		19.786	13.857	14	*	*	*		27.778	12.930	9	***	***	**	
勧誘・紹介	15.200	14.219	15					14.667	14.475	12					17.333	15.948	3				
公務員試験・就職試験	11.188	9.925	48					10.000	9.982	29					13.000	9.821	19				
Total	12.404	12.592	1130					12.491	12.868	763					12.221	12.014	367				
	N		1130	R ²		0.251		N		763	R ²		0.245		N		367	R ²		0.281	
	Root MSE		10.933	Adj R ²		0.246		Root MSE		11.233	Adj R ²		0.238		Root MSE		10.288	Adj R ²		0.267	
	Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F		Source	Partial SS	df	MS	F			
	Model	44903.831	7	6414.833	53.66	***		Model	30910.948	7	4415.850	35.00	***		Model	14825.128	7	2117.875	20.01	***	
	Residual	134118.150	1122	119.535				Residual	95269.746	755	126.185				Residual	37997.995	359	105.844			
	Total	179021.990	1129	158.567				Total	126180.690	762	165.591				Total	52823.123	366	144.325			

表3～表10共通：D1, D2, D3列は，「家族・親戚」，「友人・知人」，「学校の先輩等」との差が有意であることを表す．* p < .05, ** p < .01, *** p < .001

表4 転職の入職経路とその継続期間

転職後継続期間 転職入職経路	全体							男性							女性						
	Mean	SD	N	D1	D2	D3		Mean	SD	N	D1	D2	D3		Mean	SD	N	D1	D2	D3	
家族・親戚(1)	12.489	11.711	180				*	13.048	11.280	126					11.185	12.676	54				
友人・知人(2)	9.521	8.421	547					10.003	9.121	295					8.956	7.496	252				
学校の先輩・先生・学校推薦(3)	7.540	7.150	63	*				8.528	8.467	36					6.222	4.718	27				
求人機関・求人情報	7.654	7.322	1027	*				8.160	7.520	489					7.195	7.114	538				
家業継承	19.813	15.355	368	***	***	***		14.507	12.108	203					26.339	16.412	165	***	***	***	
起業	19.678	14.309	329	***	***	***		20.328	14.220	265	**	***	***		16.984	14.473	64		**	***	
勧誘・紹介	7.382	7.331	238	*				7.313	7.554	163					7.533	6.868	75				
公務員試験・就職試験	6.333	5.073	21	***				4.700	5.100	10	***				7.818	4.792	11				
Total	11.340	11.378	2773					11.634	11.101	1587					10.948	11.730	1186				
	N		2773	R ²		0.196		N		1587	R ²		0.166		N		1186	R ²		0.316	
	Root MSE		10.213	Adj R ²		0.194		Root MSE		10.158	Adj R ²		0.163		Root MSE		9.727	Adj R ²		0.312	
	Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F		Source	Partial SS	df	MS	F			
	Model	70450.430	7	10064.347	96.50	***		Model	32518.735	7	4645.534	45.02	***		Model	51584.635	7	7369.234	77.88	***	
	Residual	288380.210	2765	104.297				Residual	162941.560	1579	103.193				Residual	111466.120	1178	94.623			
	Total	358830.640	2772	129.448				Total	195460.300	1586	123.241				Total	163050.760	1185	137.596			

表5 初職の入職経路と現在の収入

初職入職経路	全体									男性									女性								
	exp(mean)	Mean	SD	N	D1	D2	D3	exp(mean)	Mean	SD	N	D1	D2	D3	exp(mean)	Mean	SD	N	D1	D2	D3						
家族・親戚(1)	406.596	6.008	0.733	93				475.574	6.165	0.585	74				220.855	5.398	0.929	19									
友人・知人(2)	234.038	5.455	1.197	44		*		313.237	5.747	1.325	27				147.311	4.993	0.791	17									
学校の先輩・先生・学校推薦(3)	426.667	6.056	0.650	445		*		491.546	6.198	0.555	308				310.373	5.738	0.734	137									
求人機関・求人情報	350.352	5.859	0.910	292				438.207	6.083	0.862	174				251.890	5.529	0.882	118									
家業継承	201.331	5.305	1.399	95	**		**	269.095	5.595	1.267	73				76.884	4.342	1.412	22			**						
起業	338.728	5.825	0.766	19				431.278	6.067	0.486	13				200.703	5.302	1.033	6									
勧誘・紹介	297.860	5.697	0.686	15				329.477	5.798	0.652	12				198.958	5.293	0.806	3									
公務員試験・就職試験	513.259	6.241	0.547	45		***		598.879	6.395	0.369	27		*		407.223	6.009	0.687	18									
Total	365.817	5.902	0.882	1048				439.184	6.085	0.797	708				250.011	5.522	0.930	340									
	N	1048	R ²	0.075				N	708	R ²	0.064				N	340	R ²	0.160									
	Root MSE	0.851	Adj R ²	0.068				Root MSE	0.775	Adj R ²	0.054				Root MSE	0.861	Adj R ²	0.142									
	Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F								
	Model	60.684	7	8.669	11.96	***		Model	28.571	7	4.082	6.80	***		Model	46.785	7	6.684	9.01	***							
	Residual	754.000	1040	0.725				Residual	420.108	700	0.600				Residual	246.306	332	0.742									
	Total	814.683	1047	0.778				Total	448.679	707	0.635				Total	293.091	339	0.865									

表6 転職の入職経路と現在の収入

転職後入職経路	全体									男性									女性								
	exp(mean)	Mean	SD	N	D1	D2	D3	exp(mean)	Mean	SD	N	D1	D2	D3	exp(mean)	Mean	SD	N	D1	D2	D3						
家族・親戚(1)	248.679	5.516	0.835	166				298.036	5.697	0.782	116				163.387	5.096	0.809	50									
友人・知人(2)	212.906	5.361	1.027	511				281.131	5.639	1.063	276				153.605	5.034	0.879	235									
学校の先輩・先生・学校推薦(3)	362.461	5.893	0.749	60				489.724	6.194	0.519	34				244.545	5.499	0.828	26									
求人機関・求人情報	203.156	5.314	0.972	976				297.687	5.696	0.863	463				143.904	4.969	0.936	513									
家業継承	91.603	4.517	2.065	320	***	***	***	150.379	5.013	1.942	183			***	47.244	3.855	2.047	137	***	***	***						
起業	198.583	5.291	1.386	289		*		248.862	5.517	1.309	231				80.829	4.392	1.328	58			***						
勧誘・紹介	254.447	5.539	1.147	223				309.646	5.735	1.128	149				171.361	5.144	1.086	74									
公務員試験・就職試験	265.324	5.581	1.958	20				560.548	6.329	0.316	10				125.586	4.833	2.598	10									
Total	194.350	5.270	1.268	2565				268.129	5.591	1.197	1462				126.863	4.843	1.234	1103									
	N	2565	R ²	0.058				N	1462	R ²	0.043				N	1103	R ²	0.109									
	Root MSE	1.233	Adj R ²	0.055				Root MSE	1.174	Adj R ²	0.039				Root MSE	1.169	Adj R ²	0.104									
	Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F								
	Model	238.879	7	34.126	22.45	***		Model	90.330	7	12.904	9.36	***		Model	183.297	7	26.185	19.17	***							
	Residual	3886.605	2557	1.520				Residual	2003.673	1454	1.378				Residual	1496.090	1095	1.366									
	Total	4125.484	2564	1.609				Total	2094.003	1461	1.433				Total	1679.387	1102	1.524									

表5、表6 共通：Mean は、対象者の収入を自然対数変換したものの算術平均値。exp(mean)は、Mean を指数変換したもの。収入の平均値ではないが、参考値。

表7 初職の入職経路と入職時の職業威信

初職入職経路	全体							男性							女性						
	Mean	SD	N	D1	D2	D3	Mean	SD	N	D1	D2	D3	Mean	SD	N	D1	D2	D3			
家族・親戚(1)	49.687	10.121	102				49.300	10.606	80				51.095	8.176	22						
友人・知人(2)	48.946	7.841	52				48.294	7.380	32				49.990	8.620	20						
学校の先輩・先生・学校推薦(3)	52.658	10.457	471				52.124	10.527	329				53.895	10.220	142						
求人機関・求人情報	51.653	10.244	307				52.297	10.538	181				50.729	9.774	126						
家業継承	48.123	5.508	111				48.186	5.273	85				47.915	6.323	26						
起業	54.261	13.055	23				52.829	14.245	14				56.489	11.393	9						
勧誘・紹介	48.380	13.317	15				47.775	14.648	12				50.800	7.093	3						
公務員試験・就職試験	58.463	9.695	48	***	***		57.745	9.943	29	*		**	59.558	9.464	19						
Total	51.722	10.147	1129				51.427	10.268	762				52.335	9.878	367						
	N	1129	R ²	0.045			N	762	R ²	0.040			N	367	R ²	0.281					
	Root MSE	9.950	Adj R ²	0.039			Root MSE	10.107	Adj R ²	0.031			Root MSE	10.288	Adj R ²	0.267					
	Source	Partial SS	df	MS	F		Source	Partial SS	df	MS	F		Source	Partial SS	df	MS	F				
	Model	5171.822	7	738.832	7.46	***	Model	3210.811	7	458.687	4.49	***	Model	2475.997	7	353.714	3.82	***			
	Residual	110972.440	1121	98.994			Residual	77017.680	754	102.145			Residual	33235.379	359	92.578					
	Total	116144.260	1128	102.965			Total	80228.491	761	105.425			Total	35711.376	366	97.572					

表8 転職の入職経路と入職時の職業威信

転職入職経路	全体							男性							女性						
	Mean	SD	N	D1	D2	D3	Mean	SD	N	D1	D2	D3	Mean	SD	N	D1	D2	D3			
家族・親戚(1)	48.161	8.718	180			*	47.318	8.447	126				50.126	9.099	54						
友人・知人(2)	48.272	9.447	547				48.247	9.589	295				48.302	9.297	252						
学校の先輩・先生・学校推薦(3)	52.248	12.019	63	*			52.144	12.052	36				52.385	12.203	27						
求人機関・求人情報	48.194	8.698	1025			*	48.211	8.748	487				48.178	8.661	538						
家業継承	48.001	7.895	367			*	48.619	7.752	202				47.244	8.026	165						
起業	49.401	9.657	329				49.654	10.026	265				48.352	7.935	64						
勧誘・紹介	50.472	11.118	238				51.121	11.382	163				49.063	10.458	75						
公務員試験・就職試験	51.852	11.514	21				53.430	13.699	10	*			50.418	9.566	11						
Total	48.641	9.244	2770				48.862	9.463	1584				48.345	8.939	1186						
	N	2770	R ²	0.011			N	1584	R ²	0.016			N	1186	R ²	0.010					
	Root MSE	9.207	Adj R ²	0.008			Root MSE	9.409	Adj R ²	0.011			Root MSE	8.922	Adj R ²	0.004					
	Source	Partial SS	df	MS	F		Source	Partial SS	df	MS	F		Source	Partial SS	df	MS	F				
	Model	2495.494	7	356.499	4.21	***	Model	2224.964	7	317.852	3.59	***	Model	913.222	7	130.460	1.64				
	Residual	234119.950	2762	84.765			Residual	139515.250	1576	88.525			Residual	93780.955	1178	79.610					
	Total	236615.440	2769	85.452			Total	141740.210	1583	89.539			Total	94694.177	1185	79.911					

表 9 初職の入職経路と現在の職業威信

初職現在威信 初職入職経路	全体							男性							女性						
	Mean	SD	N	D1	D2	D3		Mean	SD	N	D1	D2	D3		Mean	SD	N	D1	D2	D3	
家族・親戚(1)	52.923	10.900	102					53.210	11.493	80					51.877	8.546	22				
友人・知人(2)	50.612	9.970	52					51.000	10.843	32					49.990	8.620	20				
学校の先輩・先生・学校推薦(3)	53.315	10.439	471					52.862	10.646	329					54.365	9.898	142				
求人機関・求人情報	52.389	10.380	307					53.455	10.728	181					50.857	9.696	126				
家業継承	49.619	7.181	111					50.020	7.288	85					48.308	6.792	26				
起業	55.557	12.329	23					54.957	13.280	14					56.489	11.393	9				
勧誘・紹介	52.787	11.394	15					53.283	12.439	12					50.800	7.093	3				
公務員試験・就職試験	59.075	9.270	48		**			58.759	9.296	29					59.558	9.464	19				
Total	52.823	10.303	1129					52.914	10.555	762					52.636	9.770	367				
	N		1129	R ²		0.030		N		762	R ²		0.023		N		367	R ²		0.072	
	Root MSE		10.178	Adj R ²		0.024		Root MSE		10.482	Adj R ²		0.014		Root MSE		9.502	Adj R ²		0.054	
	Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F		Source	Partial SS	df	MS	F			
	Model	3614.821	7	516.403	4.98	***		Model	1940.656	7	277.237	2.52	*		Model	2516.940	7	359.563	3.98	***	
	Residual	116126.110	1121	103.592				Residual	82848.372	754	109.878				Residual	32415.842	359	90.295			
	Total	119740.930	1128	106.153				Total	84789.028	761	111.418				Total	34932.782	366	95.445			

表 10 転職の入職経路と現在の職業威信

転職現在威信 転職入職経路	全体							男性							女性						
	Mean	SD	N	D1	D2	D3		Mean	SD	N	D1	D2	D3		Mean	SD	N	D1	D2	D3	
家族・親戚(1)	48.992	9.144	180				***	49.406	9.349	126					48.026	8.654	54			*	
友人・知人(2)	48.397	10.114	546				***	48.583	10.288	294					48.180	9.924	252			*	
学校の先輩・先生・学校推薦(3)	54.529	12.544	63	**			***	54.681	13.150	36					54.326	11.932	27	*		*	
求人機関・求人情報	46.901	9.780	1027				***	47.416	9.959	489				**	46.433	9.599	538			**	
家業継承	49.001	7.531	368				**	50.632	7.769	203					46.995	6.727	165			**	
起業	51.886	10.117	329					52.694	10.267	265					48.538	8.776	64				
勧誘・紹介	51.878	11.828	238					52.710	12.790	163					50.068	9.227	75				
公務員試験・就職試験	58.038	10.506	21	***			***	54.890	12.549	10			*		60.900	7.752	11	***		***	
Total	48.887	10.077	2772					49.840	10.430	1586					47.612	9.441	1186				
	N		2772	R ²		0.046		N		1586	R ²		0.047		N		1186	R ²		0.043	
	Root MSE		9.853	Adj R ²		0.044		Root MSE		10.205	Adj R ²		0.043		Root MSE		9.262	Adj R ²		0.038	
	Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F		Source	Partial SS	df	MS	F			
	Model	13039.278	7	1862.754	19.19	***		Model	8089.379	7	1155.626	11.10	***		Model	4568.043	7	652.578	7.61	***	
	Residual	268355.320	2764	97.089				Residual	164325.330	1578	104.135				Residual	101043.560	1178	85.776			
	Total	281394.600	2771	101.550				Total	172414.710	1585	108.779				Total	105611.600	1185	89.124			

表 7 と表 9 の違いは、表 7 が初職（かつ現職）入職当時の職業威信、表 9 が初職（かつ現職）の現時点での職業威信について分析している点。

表 8 と表 10 の違いは、直近の転職について、転職当時と現時点での職業威信を示している点。

表 3～表 10 は、いずれも「家族・親戚」、「友人・知人」、「学校の先輩・先生・学校推薦」と、それら自体および他の入職経路との間に、継続期間、収入、職業威信において差があるかを、Tukey HSD 法で検討した結果を示している。これらの 3 カテゴリに注目するのは、「家族・親戚」と「友人・知人」は、血縁関係とインフォーマルな関係という社会関係資本の各部の活用を表しており、「学校の先輩・先生・学校推薦」は、注 10 のように内実は多様であるが、学校という特殊な場に関係する資源の活用を表しているからである。

継続期間

表 3 と表 4 より、継続期間が長いのは、初職・転職を問わず、「家業継承」と「起業」である。また、初職・転職によらず、入職経路によらず、平均値と標準偏差は同程度の値であることが多い。これは、継続期間の分布が右裾が長い分布であり、長期にわたって雇用される人びとが少数いる一方で、短期で雇用される人びとが多数いることを示唆している。

収入

表 5 と表 6 は、初職の場合と転職の場合の入職経路と過去一年間の収入（ほぼ現時点での収入）との関係を示している。入職に伴う効果という点では、入職時点の収入の関係をみる

方が望ましいのかもしれないが、あいにくそのようなデータは収集されていない。現時点での収入には、入職して現時点までの定期昇給分や、対象者のパフォーマンスやそれに対する評価まで含まれている。つまり、単純な入職に伴う効果だけでなく、マッチングの良さ／悪さの効果も加わっているわけである。

まず確認できるのは、初職を継続する場合の現在の収入（表5）と、直近の転職後の現在の収入（表6）を比べると、初職の方が収入がよいということである。これは、入職経路を問わず、全体的にいえることである。一般に転職は不利といわれるが、その様子が確認できる。

収入が低いのは、初職・転職を問わず、「家業継承」である。とりわけ、転職時に家業を継ぐ場合には、収入が低い。よんどころない事情で家業を継がざるをえなくなると、困った状況に陥るケースが多いと考えられる。

職業威信

表7～表10について、表7と表9の違いは、表7が初職（かつ現職）入職当時の職業威信、表9が初職（かつ現職）の現時点での職業威信について分析している点であり、表8と表10の違いは、直近の転職について、転職当時と現時点での職業威信を示している点である。表7と表8は、入職時点の職業威信であり、入職経路の直接的な効果を示しているのに対し、表9と表10は、現時点での職業威信であり、入職して現時点までの職位や仕事内容の変化まで含まれている。つまり、単純な入職に伴う効果だけでなく、マッチングの良さ／悪さの効果も加わっているわけである。

ここでも、収入の場合と同様、初職の職業威信（表7または表9）と、転職後の職業威信（表8または表10）を比べると、全体としては、初職の方が職業威信が高いということである。職業威信の高い職業、あるいは将来的に昇進が期待できるようなキャリアパスは、占有される傾向があり、職業威信の低い職業に空きがしやすいのかもしれない。そして、どのような入職経路であっても、その傾向に違いはない。

初職時に「公務員試験・就職試験」を受けると、職業威信は高くなる。ただし、入職時には顕著だが、現時点までの間に、その効果は薄まってくる。どの入職経路であっても、入職後から現在までの間に職業威信の上昇がみられるが、「公務員試験・就職試験」より他の入職経路の方が、上昇幅が大きいことによる。

ただし、表7～表10について、F値はいずれも有意ではあるものの、 R^2 値は全般的に低いので、入職経路と職業威信の関係はあまり強くないことがわかる。

3.2 産業と地位達成

初職と現職について、産業による地位達成の分析結果を表11～表18に示す。

表 1 1 初職の産業と継続期間

初職継続期間	全体							男性							女性							
	Mean	SD	N	D2	D4	D7		Mean	SD	N	D2	D4	D7		Mean	SD	N	D2	D4	D7		
第1次産業	34.981	21.404	52	***	***	***		36.273	20.918	44	***	***	***		27.875	24.121	8	***	***	***		
第2次産業(2)	12.346	11.385	390					11.902	11.209	337					15.170	12.181	53					
情報通信・運輸業	10.286	9.231	84					9.909	9.371	66					11.667	8.818	18					
卸・小売・宿泊・飲食・生活関連(4)	11.242	12.224	182					10.561	11.306	107					12.213	13.445	75					
金融保険・不動産	8.621	8.439	58					7.129	7.406	31					10.333	9.336	27					
学術・専門・技術・教育	13.643	11.643	143					13.083	11.356	72					14.211	11.982	71					
医療・福祉(7)	8.595	8.516	131					9.083	8.917	36					8.411	8.400	95					
複合・その他	11.554	10.359	56					11.116	9.236	43					13.000	13.796	13					
公務	9.226	8.784	115					8.890	8.242	73					9.810	9.731	42					
Total	12.245	12.418	1211					12.371	12.710	809					11.993	11.819	402					
N	1211			R ²	0.168			N	809			R ²	0.216			N	402			R ²	0.079	
Root MSE	11.368			Adj R ²	0.162			Root MSE	11.311			Adj R ²	0.208			Root MSE	11.459			Adj R ²	0.060	
Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F				
Model	31250.420	8	3906.303	30.23	***		Model	28191.170	8	3523.896	27.55	***		Model	4414.748	8	551.843	4.20	***			
Residual	155339.740	1202	129.234				Residual	102343.580	800	127.929				Residual	51602.230	393	131.303					
Total	186590.160	1210	154.207				Total	130534.750	808	161.553				Total	56016.978	401	139.693					

表 1 1 ~ 表 1 8 共通 : D2, D4, D7 列は, 「第 2 次産業」, 「卸・小売・宿泊・飲食・生活関連」, 「医療・福祉」との差が有意であるかを表す. * p < .05, ** p < .01, *** p < .001

表 1 2 転職先の産業と継続期間

転職後継続期間	全体							男性							女性							
	Mean	SD	N	D2	D4	D7		Mean	SD	N	D2	D4	D7		Mean	SD	N	D2	D4	D7		
第1次産業	19.109	17.100	174	***	***	***		12.364	11.666	107					29.881	18.878	67	***	***	***		
第2次産業(2)	13.296	11.953	720					13.607	12.287	544			**		12.335	10.834	176					
情報通信・運輸業	9.140	8.116	207	**	*			9.699	8.307	166					6.878	6.929	41					
卸・小売・宿泊・飲食・生活関連(4)	12.678	12.207	662			***		13.552	11.988	290			**		11.997	12.348	372					
金融保険・不動産	8.500	9.834	104	***	**			9.893	11.917	56					6.875	6.380	48					
学術・専門・技術・教育	9.832	9.682	220					10.268	9.660	127					9.237	9.733	93					
医療・福祉(7)	7.235	7.171	391	***	***			7.990	8.794	103	**	**			6.965	6.490	288					
複合・その他	8.579	8.757	309	***	**			8.673	8.289	205	*				8.394	9.652	104					
公務	9.130	8.489	77	**				8.540	8.737	50	*				10.222	8.054	27					
Total	11.317	11.385	2864					11.621	11.087	1648					10.906	11.770	1216					
N	2864			R ²	0.070			N	1648			R ²	0.039			N	1216			R ²	0.189	
Root MSE	10.993			Adj R ²	0.068			Root MSE	10.895			Adj R ²	0.034			Root MSE	10.636			Adj R ²	0.183	
Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F				
Model	26101.038	8	3262.630	27.00	***		Model	7911.938	8	988.992	8.33	***		Model	31770.457	8	3971.307	35.11	***			
Residual	345023.460	2855	120.849				Residual	194542.030	1639	118.696				Residual	136542.860	1207	113.126					
Total	371124.490	2863	129.628				Total	202453.970	1647	122.923				Total	168313.310	1215	138.529					

表 1 3 初職の産業と現在の収入

初職収入	全体							男性							女性							
	exp(Mean)	Mean	SD	N	D2	D4	D7	exp(Mean)	Mean	SD	N	D2	D4	D7	exp(Mean)	Mean	SD	N	D2	D4	D7	
第1次産業	148.431	5.000	1.530	46	***	**	***	198.176	5.289	1.373	38	***	*	*	37.607	3.627	1.574	8	***	***	***	
第2次産業(2)	448.871	6.107	0.674	364	***	*		486.899	6.188	0.628	316				262.795	5.571	0.726	48				
情報通信・運輸業	464.300	6.141	0.581	79	***	***		514.481	6.243	0.534	62	*	*		319.336	5.766	0.606	17				
卸・小売・宿泊・飲食・生活関連(4)	240.519	5.483	0.978	165	***			320.787	5.771	0.988	96				161.117	5.082	0.816	69				
金融保険・不動産	406.182	6.007	1.054	54	***			599.211	6.396	0.616	28	***	**		267.223	5.588	1.263	26				
学術・専門・技術・教育	410.664	6.018	0.791	137	***			468.826	6.150	0.923	69				359.017	5.883	0.606	68			*	
医療・福祉(7)	288.731	5.665	0.865	120	*			325.222	5.785	0.791	34				275.460	5.618	0.892	86				
複合・その他	352.673	5.866	0.707	55				428.655	6.061	0.566	42				187.764	5.235	0.770	13				
公務	487.690	6.190	0.523	105	***	***		571.477	6.348	0.377	66	**	**		372.924	5.921	0.624	39			*	
Total	367.089	5.906	0.867	1125				439.978	6.087	0.787	751				255.164	5.542	0.908	374				
N	1125			R ²	0.123			N	751			R ²	0.106			N	374			R ²	0.196	
Root MSE	0.815			Adj R ²	0.117			Root MSE	0.748			Adj R ²	0.096			Root MSE	0.823			Adj R ²	0.178	
Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F				
Model	104.054	8	13.007	19.57	***		Model	49.114	8	6.139	10.97	***		Model	60.139	8	7.517	11.10	***			
Residual	741.792	1116	0.665				Residual	415.182	742	0.560				Residual	247.302	365	0.678					
Total	845.846	1124	0.753				Total	464.297	750	0.619				Total	307.441	373	0.824					

表 1 4 転職先の産業と現在の収入

転職後収入	全体							男性							女性							
	exp(Mean)	Mean	SD	N	D2	D4	D7	exp(Mean)	Mean	SD	N	D2	D4	D7	exp(Mean)	Mean	SD	N	D2	D4	D7	
第1次産業	40.456	3.700	2.314	144	***	***	***	62.750	4.139	2.206	99	***	***	***	15.403	2.735	2.276	45	***	***	***	
第2次産業(2)	271.983	5.606	0.935	677	***			336.721	5.819	0.829	508				143.155	4.964	0.945	169				
情報通信・運輸業	312.833	5.746	0.789	194	***			351.317	5.862	0.766	156				194.296	5.269	0.711	38				
卸・小売・宿泊・飲食・生活関連(4)	158.481	5.066	1.241	602	***			271.121	5.603	1.104	257				106.235	4.666	1.187	345				
金融保険・不動産	184.902	5.220	1.620	99				196.794	5.282	1.937	53	*			172.089	5.148	1.171	46				
学術・専門・技術・教育	251.130	5.526	1.094	201				355.227	5.873	0.824	115				157.944	5.062	1.235	86				
医療・福祉(7)	210.889	5.351	0.951	366				315.741	5.755	0.803	92				184.163	5.216	0.960	274				
複合・その他	165.472	5.109	1.197	298	**			193.662	5.266	1.226	198	*			121.185	4.797	1.079	100				
公務	299.388	5.702	1.356	67				456.857	6.124	1.112	44				133.384	4.893	1.436	23				
Total	196.456	5.280	1.277	2648				269.359	5.596	1.204	1522				128.231	4.854	1.248	1126				
N	2648			R ²	0.124			N	1522			R ²	0.135			N	1126			R ²	0.152	
Root MSE	1.196			Adj R ²	0.122			Root MSE	1.123			Adj R ²	0.130			Root MSE	1.153			Adj R ²	0.146	
Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F			Source	Partial SS	df	MS	F				
Model	535.980	8	66.997	46.80	***		Model	296.643	8	37.080	29.39	***		Model	266.912	8	33.364	25.10	***			
Residual	3777.881	2639	1.432				Residual	1908														

表 15 初職の産業と入職時の職業威信

初職入職時威信	全体							男性							女性						
	Mean	SD	N	D2	D4	D7		Mean	SD	N	D2	D4	D7		Mean	SD	N	D2	D4	D7	
初職産業																					
第1次産業	48.090	2.096	52				***	47.907	2.076	44				***	49.100	2.037	8				
第2次産業(2)	50.422	9.062	390				***	50.806	9.253	337				***	47.979	7.354	53				*
情報通信・運輸業	54.441	10.273	83	*				54.323	10.733	65				***	54.867	8.665	18				***
卸・小売・宿泊・飲食・生活関連(4)	44.611	7.655	182	***			***	44.393	7.519	107	**			***	44.923	7.886	75				***
金融保険・不動産	48.726	4.351	58		*		***	47.326	3.972	31				***	50.333	4.274	27				
学術・専門・技術・教育	63.101	9.090	143	***			***	64.535	8.980	72	***			***	61.646	9.032	71	***			***
医療・福祉(7)	56.516	10.474	131	***			***	58.025	13.573	36	***			***	55.944	9.051	95	*			***
複合・その他	46.052	8.511	56	*			***	45.651	9.066	43				***	47.377	6.469	13				**
公務	53.552	8.245	115				***	54.615	8.524	73				***	51.705	7.477	42				
Total	51.896	10.192	1210					51.563	10.370	808					52.564	9.804	402				
N		1210	R ²		0.282			N		808	R ²		0.267		N		402	R ²		0.341	
Root MSE		8.668	Adj R ²		0.277			Root MSE		8.925	Adj R ²		0.259		Root MSE		8.040	Adj R ²		0.328	
Source	Partial SS	df	MS	F				Source	Partial SS	df	MS	F		Source	Partial SS	df	MS	F			
Model	35357.078	8	4419.635	58.82	***			Model	23135.636	8	2891.955	36.30	***		Model	13142.219	8	1642.777	25.42	***	
Residual	90237.214	1201	75.135					Residual	63646.222	799	79.657				Residual	25401.471	393	64.635			
Total	125594.290	1209	103.883					Total	86781.857	807	107.536				Total	38543.689	401	96.119			

表 16 転職先の産業と入職時の職業威信

転職入職時威信	全体							男性							女性						
	Mean	SD	N	D2	D4	D7		Mean	SD	N	D2	D4	D7		Mean	SD	N	D2	D4	D7	
転職後産業																					
第1次産業	47.993	6.685	174				**	47.964	7.396	107				***	48.039	5.411	67				
第2次産業(2)	47.701	7.906	718				***	48.016	8.082	542				***	46.730	7.277	176				
情報通信・運輸業	48.302	9.102	206				**	48.528	9.312	165				**	47.390	8.244	41				
卸・小売・宿泊・飲食・生活関連(4)	46.927	8.520	662				***	47.313	8.600	290				***	46.627	8.457	372				
金融保険・不動産	47.151	7.820	104				***	46.134	7.977	56				***	48.338	7.543	48				
学術・専門・技術・教育	54.316	11.357	220	***			***	54.599	12.298	127	***			***	53.930	9.983	93	***			***
医療・福祉(7)	51.671	11.552	391	***			***	53.427	14.278	103	***			***	51.043	10.363	288				
複合・その他	47.612	8.163	309				***	48.408	8.330	205				**	46.042	7.622	104				*
公務	52.808	11.304	77	***			***	52.420	12.192	50				**	53.526	9.620	27	***			***
Total	48.742	9.341	2861					48.906	9.556	1645					48.521	9.042	1216				
N		2861	R ²		0.061			N		1645	R ²		0.057		N		1216	R ²		0.079	
Root MSE		9.065	Adj R ²		0.058			Root MSE		9.301	Adj R ²		0.053		Root MSE		8.707	Adj R ²		0.073	
Source	Partial SS	df	MS	F				Source	Partial SS	df	MS	F		Source	Partial SS	df	MS	F			
Model	15218.512	8	1902.314	23.15	***			Model	8604.412	8	1075.552	12.43	***		Model	7837.813	8	979.727	12.92	***	
Residual	234351.170	2852	82.171					Residual	141517.230	1636	86.502				Residual	91506.512	1207	75.813			
Total	249569.690	2860	87.262					Total	150121.640	1644	91.315				Total	99344.325	1215	81.765			

表 17 初職の産業と現在の職業威信

初職現在威信	全体							男性							女性						
	Mean	SD	N	D2	D4	D7		Mean	SD	N	D2	D4	D7		Mean	SD	N	D2	D4	D7	
初職産業																					
第1次産業	48.090	2.096	52				***	47.907	2.076	44				***	49.100	2.037	8				
第2次産業(2)	51.580	9.637	390				**	52.067	9.900	337				*	48.487	7.080	53				*
情報通信・運輸業	55.752	10.926	83	*			***	55.997	11.521	65				***	54.867	8.665	18				
卸・小売・宿泊・飲食・生活関連(4)	46.681	8.793	182	**			***	47.758	9.247	107				***	45.144	7.910	75				***
金融保険・不動産	49.507	3.814	58				***	48.648	3.956	31				***	50.493	3.457	27				
学術・専門・技術・教育	63.461	9.147	143	***			***	65.186	9.068	72	***			***	61.711	8.954	71	***			***
医療・福祉(7)	56.548	10.569	131	**			***	57.986	13.914	36	*			***	56.003	9.017	95	*			***
複合・その他	48.318	8.862	56				***	48.242	9.314	43				***	48.569	7.500	13				*
公務	54.711	8.224	115				***	55.927	8.381	73				***	52.598	7.581	42				*
Total	52.969	10.326	1210					53.033	10.630	808					52.840	9.696	402				
N		1210	R ²		0.229			N		808	R ²		0.205		N		402	R ²		0.333	
Root MSE		9.097	Adj R ²		0.224			Root MSE		9.523	Adj R ²		0.198		Root MSE		7.998	Adj R ²		0.320	
Source	Partial SS	df	MS	F				Source	Partial SS	df	MS	F		Source	Partial SS	df	MS	F			
Model	29504.271	8	3688.034	44.56	***			Model	18731.325	8	2341.416	25.82	***		Model	12558.882	8	1569.860	24.54	***	
Residual	99394.471	1201	82.760					Residual	72459.469	799	90.688				Residual	25139.081	393	63.967			
Total	128898.740	1209	106.616					Total	91190.794	807	113.000				Total	37697.963	401	94.010			

表 18 転職先の産業と現在の職業威信

転職先現在威信	全体							男性							女性						
	Mean	SD	N	D2	D4	D7		Mean	SD	N	D2	D4	D7		Mean	SD	N	D2	D4	D7	
転職先産業																					
第1次産業	48.610	2.682	174				***	48.707	2.661	107				***	48.455	2.729	67				
第2次産業(2)	48.396	8.794	720				***	49.237	9.070	544				**	45.797	7.313	176				***
情報通信・運輸業	48.708	10.047	207				***	48.783	10.215	166				***	48.407	9.447	41				
卸・小売・宿泊・飲食・生活関連(4)	45.893	9.619	662				***	48.400	9.844	290				***	43.939	8.978	372				***
金融保険・不動産	49.200	9.149	104				**	50.232	10.816	56				**	47.996	6.616	48				
学術・専門・技術・教育	58.808	11.640	220	***			***	61.327	11.461	127	***			***	55.369	11.042	93	***			***
医療・福祉(7)	53.076	10.758	391	***			***	54.671	12.991	103	**			*	52.505	9.800	288	***			***
複合・その他	44.491	8.901	309	**			***	44.551	9.287	205	**			***	44.372	8.128	104				***
公務	53.514	10.689	77	***			***	55.668	10.607	50	***			***	49.526	9.824	27				**
Total	49.037	10.194	2864					49.927	10.502	1648					47.832	9.635	1216				
N		2864	R ²		0.142			N		1648	R ²		0.153		N		1216	R ²		0.171	
Root MSE		9.456	Adj R ²		0.140			Root MSE		9.692	Adj R ²		0.148		Root MSE		8.800	Adj R ²		0.166	
Source	Partial SS	df	MS	F				Source	Partial SS	df	MS	F		Source	Partial SS	df	MS	F			
Model	42207.949	8	5275.994	59.00	***			Model	27711.642	8	3463.955	36.88	***		Model	19302.691	8	2412.836	31.15	***	
Residual	255309.120	2855	89.425					Residual	153951.410	1639	93.930				Residual	93479.396	1207	77.448			
Total	297517.070	2863	103.918					Total	181663.060	1647	110.299				Total	112782.090	1215	92.825			

表 15 と表 17 の違いは、表 15 が初職（かつ現職）入職当時の職業威信、表 17 が初職（かつ現職）の現時点での職業威信について分析している点。
 表 16 と表 18 の違いは、直近の転職について

表11～表18は、いずれも「第2次産業」、「卸・小売・宿泊・飲食・生活関連」、「医療・福祉」と、それら自体および他の入職経路との間に、継続期間、収入、職業威信において差があるかを、Tukey HSD法で検討した結果を示している。これらのカテゴリに注目するのは、以下のような理由である。「第2次産業」は、長期雇用の慣行、年功序列型賃金など、従来型産業の典型としての意味がある。他の2つは第3次産業であるが、「卸・小売・宿泊・飲食・生活関連」は、人口的にもボリュームのあるカテゴリであり、短期雇用、内部昇進がないことなど、第3次産業の特徴を最も体現していると思われるからである。「医療・福祉」は、必要とされながらも待遇が悪いため、なり手が少なかったり継続期間が短いことが社会問題になっているからである。

継続期間

表11と表12より、継続期間が長いのは、初職・転職を問わず、「第1次産業」である。初職においては、あまり継続期間に違いは見られないが、転職の場合には違いが見られる。「第2次産業」は、「第1次産業」に次ぐ継続期間であり、多くの他のカテゴリより有意に長い。「卸・小売・宿泊・飲食・生活関連」は、継続期間については全体としても長めで、他の第3次産業よりも長めになっている。第3次産業と一口に言っても、継続期間は多様である。また、初職・転職によらず、産業カテゴリによらず、平均値と標準偏差の値は同程度であることが多い。これは、継続期間の分布が右裾が長い分布であり、長期間雇用される人びとが少数いる一方で、短期間雇用される人びと¹⁵が多数いることを示唆している。

収入

表13と表14より、まず確認できるのは、初職を継続する場合の現在の収入（表13）と、直近の転職後の現在の収入（表14）を比べると、どの産業カテゴリであれ、初職の方が収入がよいということである。これは、日本においては、日本的雇用慣行が失われてきているとはいうものの、初職を継続していくこと（長期雇用）が、産業を問わずなお有利であることを示している。逆に、収入が悪い人ほど転職を試みるということもあるだろう。

収入が低いのは、初職・転職を問わず、「第1次産業」である。また、第3次産業の中でも収入の高低があり、初職では「卸・小売・宿泊・飲食・生活関連」と「医療・福祉」が低く、転職では「卸・小売・宿泊・飲食・生活関連」と「複合・その他」が低い。

「卸・小売・宿泊・飲食・生活関連」は、転職後の雇用期間は長め、標準偏差も大きめで、

¹⁵ ここでいう長期間もしくは短期間雇用される人びととは、必ずしも正規-非正規（臨時雇用、パート・アルバイト）の区別を指すわけではない。期限のない雇用であっても転職する人はいるし、期限が更新されて長期間雇用される人もいる。もちろん全体としては、正規雇用の方が雇用期間は長いだろう。

収入は低い。内部昇進の慣行がないので、少数の人は店長などに昇進して長期に働くが、それ以外の人たちは入れ替わりが多い様子がみてとれる。

「第2次産業」は、初職でも転職でも、「公務」と「情報通信・運輸業」に次いで収入が高い。継続期間も長いことから、長期雇用、年功序列型賃金体系の典型的な日本的雇用慣行がなお存続しているといえよう。

職業威信

表15から表18は、職業威信にかかわる結果である。ここでも、初職と転職後の職業威信を比べると、全体として初職の方が職業威信が高い。産業別にみても、ほぼ同程度か初職の方がよいかである。表7～表10のところでも指摘したが、職業威信の高い職業、あるいは将来的に威信の高い職業に昇進が期待できるようなキャリアパスは、占有される傾向があり、職業威信の低い職業に空きがしやすいのかもしれない。そして、どのような入職経路であっても、その傾向に違いはない。

初職・転職を問わず、「学術・専門・技術・教育」の威信が最も高く、次いで「医療・福祉」が高い。「第2次産業」の職業威信は、初職・転職を問わず平均的（やや低め）である。「卸・小売・宿泊・飲食・生活関連」の職業威信は、初職・転職を問わず最も低い。

表15と表17、表16と表18を比較すると、初職においては、入職時から現在まででF値や R^2 値は減少していることから、産業別の効果は薄まっている。転職については、入職時から現在まででF値や R^2 値は増加していることから、産業別の効果はむしろ強まっている。

3.3 地位達成に対する入職経路と産業とその交互作用効果

ここまで、入職経路と産業によって地位達成の様子がどのように違うのかを記述してきた。ここでは、地位達成にかかわる変数を従属変数としたダミー変数最小二乗法（LSDV: least-squares dummy variables）分析を行い、それに対する入職経路と産業、そしてそれらの交互作用の効果を検討する。また、個人属性を統制する。入職経路については、「友人・知人」を基準カテゴリとし、産業については、「卸・小売・宿泊・飲食・生活関連」を基準カテゴリとした。交互作用については、入職経路8つと産業9つの単純な組み合わせでも $(8-1) \times (9-1) = 56$ もある。より高次の交互作用は考えないが、有意なもののみを示した。

表 19 初職の継続期間に関わる LSDV

Source	全体				男性				女性			
	Partial SS	df	MS	F	Partial SS	df	MS	F	Partial SS	df	MS	F
Model	93019.348	58	1603.782	20.14 ***	62752.275	55	1140.951	12.72 ***	33669.418	40	841.735	14.94 ***
初職入職経路	1097.694	7	156.813	1.97	1805.547	7	257.935	2.88 **	712.900	7	101.843	1.81
初職産業	1236.825	8	154.603	1.94	1167.753	8	145.969	1.63	1718.029	8	89.754	1.59
交互作用	5364.868	40	134.122	1.68 **	5055.062	38	133.028	1.48 *	1545.207	23	67.183	1.19
性別	1571.340	1	1571.340	19.73 ***								
年齢	26496.090	1	26496.090	332.75 ***	14293.566	1	14293.566	159.32 ***	11974.014	1	11974.014	212.58 ***
教育年数	3959.869	1	3959.869	49.73 ***	3409.752	1	3409.752	38.01 ***	404.569	1	404.569	7.18 **
Residual	67780.388	1,047	64.738		63337.889	706	89.714		18193.714	323	56.327	
Total	164325.180	1,104	148.845		126090.160	761	165.690		51863.132	363	142.874	
	N	1,126		R ² 0.523	N	762		R ² 0.498	N	364		R ² 0.649
	F(58, 1067)	20.14 ***		Adj R ² 0.497	F(55, 706)	12.72 ***		Adj R ² 0.459	F(40, 323)	14.94 ***		Adj R ² 0.606
				Root MSE 8.923				Root MSE 9.472				Root MSE 7.505
初職継続期間	Coef.	Std. Err.	t	Beta	Coef.	Std. Err.	t	Beta	Coef.	Std. Err.	t	Beta
定数	7.975	3.267	2.44 *		8.393	4.834	1.74		2.733	4.842	0.56	
性別												
女性	2.866	0.645	4.44 ***	0.107								
年齢	0.404	0.022	18.24 ***	0.451	0.360	0.028	12.62 ***	0.383	0.536	0.037	14.58 ***	0.622
教育年数	-1.018	0.144	-7.05 ***	-0.172	-1.092	0.177	-6.16 ***	-0.191	-0.707	0.264	-2.68 **	-0.110
初職入職経路(1~8)												
家族・親戚(1)	-3.875	3.277	-1.18	-0.088	-1.312	4.812	-0.27	-0.031	-3.435	4.969	-0.69	-0.069
友人・知人(2)	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000
学校の先輩・先生・学校推薦(3)	-0.268	2.599	-0.10	-0.011	2.366	4.227	0.56	0.091	-1.730	3.071	-0.56	-0.071
求人機関・求人情報(4)	-0.979	2.548	-0.38	-0.035	2.534	4.262	0.59	0.084	-2.512	2.823	-0.89	-0.100
家業継承(5)	7.387	2.811	2.63 **	0.175	9.979	4.533	2.20 *	0.244	4.508	3.286	1.37	0.097
起業(6)	5.741	4.276	1.34	0.062	8.498	6.714	1.27	0.086	4.567	4.941	0.92	0.056
勧誘・紹介(7)	-0.223	4.282	-0.05	-0.002	1.330	5.737	0.23	0.013	2.801	7.893	0.35	0.021
公務員試験・就職試験(8)	-2.072	4.045	-0.51	-0.033	1.785	5.268	0.34	0.027	-8.337	5.894	-1.41	-0.155
初職産業(a~i)												
第1次産業(a)	-31.220	9.666	-3.23 **	-0.512	-30.115	10.962	-2.75 **	-0.546	10.907	4.025	2.71 **	0.116
第2次産業(b)	-2.540	3.095	-0.82	-0.095	1.077	4.557	0.24	0.041	-13.720	5.844	-2.35 *	-0.402
情報通信・運輸業(c)	19.009	9.217	2.06 *	0.382	21.933	10.256	2.14 *	0.459	2.245	2.810	0.80	0.040
卸・小売・宿泊・飲食・生活関連(d)	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000
金融保険・不動産(e)	-2.489	4.767	-0.52	-0.042	5.237	7.100	0.74	0.078	-9.948	5.737	-1.73	-0.211
学術・専門・技術・教育(f)	-0.580	9.218	-0.06	-0.014	1.165	10.241	0.11	0.025	11.749	6.891	1.70	0.365
医療・福祉(g)	-5.077	3.868	-1.31	-0.123	-2.451	7.736	-0.32	-0.038	-5.426	3.894	-1.39	-0.192
複合・その他(h)	6.087	6.705	0.91	0.103	8.712	7.738	1.13	0.156	2.298	7.818	0.29	0.031
公務(i)	-2.019	4.285	-0.47	-0.047	-3.985	6.131	-0.65	-0.088	4.217	5.870	0.72	0.109
交互作用												
1 a	48.219	13.369	3.61 ***	0.114	47.323	14.773	3.20 **	0.133				
1 b									17.761	8.473	2.10 *	0.135
1 c	-21.345	10.023	-2.13 *	-0.143	-26.042	11.224	-2.32 *	-0.193				
3 a	32.624	13.231	2.47 *	0.077	30.468	14.603	2.09 *	0.086				
3 b									16.804	6.305	2.67 **	0.369
3 c					-21.662	10.548	-2.05 *	-0.311				
4 a	40.073	10.700	3.74 ***	0.190	41.634	12.364	3.37 ***	0.203				
4 b									13.528	6.337	2.13 *	0.225
5 a	41.843	9.888	4.23 ***	0.638	41.103	11.291	3.64 ***	0.696				
5 c	-33.604	11.303	-2.97 **	-0.113	-36.814	12.485	-2.95 **	-0.146				
7 g	23.381	10.399	2.25 *	0.055								

表 20 転職先の継続期間に関わる LSDV

Source	全体				男性				女性			
	Partial SS	df	MS	F	Partial SS	df	MS	F	Partial SS	df	MS	F
Model	133475.870	66	2022.362	24.50 ***	66190.120	63	1050.637	12.43 ***	84261.707	61	1381.340	20.13 ***
転職入職経路	6674.146	7	953.449	11.55 ***	4951.848	7	707.407	8.37 ***	3847.248	7	549.607	8.01 ***
転職後産業	3418.767	8	427.346	5.18 ***	2891.077	8	361.385	4.28 ***	1026.727	8	128.341	1.87
交互作用	7310.362	48	152.299	1.84 ***	4327.357	46	94.073	1.11	5122.046	44	116.410	1.70 **
性別	1171.727	1	1171.727	14.19 ***								
年齢	36243.529	1	36243.529	439.04 ***	17807.233	1	17807.233	210.70 ***	15672.992	1	15672.992	228.41 ***
教育年数	1614.077	1	1614.077	19.55 ***	755.383	1	755.383	8.94 **	376.693	1	376.693	5.49 *
Residual	221567.140	2,684	82.551		128211.450	1,517	84.516		35830.533	1,875	19.110	
Total	355043.020	2,750	129.107		194401.570	1,580	123.039		38389.447	1,938	19.809	
	N	2,751		R ² 0.376	N	1,581		R ² 0.341	N	1,939		R ² 0.067
	F(66, 2684)	24.50 ***		Adj R ² 0.361	F(63, 1517)	12.43 ***		Adj R ² 0.313	F(63, 1875)	2.13 ***		Adj R ² 0.035
				Root MSE 9.086				Root MSE 9.193				Root MSE 4.372
転職後継続期間	Coef.	Std. Err.	t	Beta	Coef.	Std. Err.	t	Beta	Coef.	Std. Err.	t	Beta
定数	-0.714	1.801	-0.40		0.369	2.419	0.15		-1.443	2.584	-0.56	
性別												
女性	1.485	0.394	3.77 ***	0.065								
年齢	0.301	0.014	20.95 ***	0.358	0.276	0.019	14.52 ***	0.340	0.320	0.021	15.11 ***	0.363
教育年数	-0.393	0.089	-4.42 ***	-0.076	-0.334	0.112	-2.99 **	-0.070	-0.331	0.141	-2.34 **	-0.056
転職入職経路(1~8)												
家族・親戚(1)	0.584	1.845	0.32	0.013	1.775	2.767	0.64	0.043	-0.760	2.286	-0.33	-0.014
友人・知人(2)	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000
学校の先輩・先生・学校推薦(3)	2.237	3.553	0.63	0.029	3.478	4.811	0.72	0.046	0.391	4.910	0.08	0.005
求人機関・求人情報(4)	-2.120	1.084	-1.96	-0.090	-1.020	1.773	-0.58	-0.043	-2.450	1.268	-1.93	-0.104
家業継承(5)	10.720	1.235	8.68 ***	0.321	8.434	1.878	4.49 ***	0.254	12.587	1.511	8.33 ***	0.374
起業(6)	7.866	1.289	6.10 ***	0.224	8.388	1.842	4.55 ***	0.282	6.710	1.726	3.89 ***	0.129
勧誘・紹介(7)	-0.678	1.702	-0.40	-0.017	-0.034	2.324	-0.01	-0.001	-2.484	2.400	-1.03	-0.051
公務員試験・就職試験(8)	-1.189	4.086	-0.29	-0.009	-4.289	4.764	-0.90	-0.031	7.448	7.565	0.98	0.061
転職後産業(a~i)												
第1次産業(a)	-3.669	3.168	-1.16	-0.076	-4.033	4.020	-1.00	-0.088	-3.204	4.910	-0.65	-0.063
第2次産業(b)	1.387	1.205	1.15	0.053	1.009	1.678	0.60	0.043	1.033	1.863	0.55	0.031
情報通信・運輸業(c)	2.256	1.557	1.45	0.052	2.035	1.979	1.03	0.055	0.840	3.130	0.27	0.013
卸・小売・宿泊・飲食・生活関連(d)	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000
金融保険・不動産(e)	-2.442	2.002	-1.22	-0.041	-2.834	2.839	-1.00	-0.047	-2.159	2.632	-0.82	-0.036
学術・専門・技術・教育(f)	-2.535	1.722	-1.47	-0.059	-1.920	2.649	-0.72	-0.046	-3.102	2.090	-1.48	-0.069
医療・福祉(g)	-3.440	1.286	-2.68 **	-0.103	-4.684	2.592	-1.81	-0.100	-2.919	1.419	-2.06 *	-0.106
複合・その他(h)	-3.072	1.471	-2.09 *	-0.084	-3.865	2.108	-1.83	-0.115	-2.258	1.932	-1.17	-0.054
公務(i)	-0.835	2.891	-0.29	-0.012	0.098	3.551	0.03	0.002	-4.516	4.905	-0.92	-0.057
交互作用												
1 a	15.578	5.134	3.03 **	0.064					27.079	7.142	3.79 ***	0.117
5 b	-3.952	1.825	-2.17 *	-0.054								
5 c	-15.513	3.867	-4.01 ***	-0.069					-18.396	4.966	-3.70 ***	-0.103
6 b	3.625	1.770	2									

表 2 1 初職の現在の収入に関わる LSDV

初職収入 Source	全体				男性				女性			
	Partial SS	df	MS	F	Partial SS	df	MS	F	Partial SS	df	MS	F
Model	226.754	49	4.628	7.98 ***	97.809	47	2.081	4.21 ***	101.138	35	2.890	4.36 ***
初職入職経路	4.561	7	0.652	1.12	1.825	7	0.261	0.53	9.620	7	1.374	2.07 *
初職産業	9.394	7	1.342	2.31 *	7.937	7	1.134	2.29 *	15.493	7	2.213	3.34 **
交互作用	16.962	31	0.547	0.94	15.261	30	0.509	1.03	20.714	18	1.151	1.74 *
性別	42.986	1	42.986	74.12 ***								
年齢	19.496	1	19.496	33.62 ***	19.053	1	19.053	38.53 ***	3.335	1	3.335	5.03 *
継続期間	0.517	1	0.517	0.89	2.335	1	2.335	4.72 *	1.445	1	1.445	2.18
教育年数	14.263	1	14.263	24.59 ***	7.679	1	7.679	15.53 ***	12.303	1	12.303	18.56 ***
Residual	508.002	876	0.580		295.721	598	0.495		161.712	244	0.663	
Total	734.757	925	0.794		393.530	645	0.610		262.850	279	0.942	
	N	926	R ²	0.309	N	646	R ²	0.249	N	280	R ²	0.385
	F(49, 876)	7.98 ***	Adj R ²	0.270	F(47, 598)	4.21 ***	Adj R ²	0.190	F(35, 244)	4.36 ***	Adj R ²	0.297
			Root MSE	0.762			Root MSE	0.703			Root MSE	0.814
初職収入	Coef.	Std. Err.	t	Beta	Coef.	Std. Err.	t	Beta	Coef.	Std. Err.	t	Beta
定数	3.853	0.308	12.52 ***	.	4.191	0.388	10.79 ***	.	1.954	0.608	3.21 **	.
性別												
女性	-0.537	0.062	-8.61 ***	-0.277								
年齢	0.014	0.002	5.80 ***	0.215	0.016	0.003	6.21 ***	0.275	0.013	0.006	2.24 *	0.183
継続期間	-0.003	0.003	-0.94	-0.039	-0.007	0.003	-2.17 *	-0.111	0.011	0.007	1.48	0.127
教育年数	0.068	0.014	4.96 ***	0.160	0.057	0.014	3.94 ***	0.162	0.142	0.033	4.31 ***	0.266
初職入職経路(1~8)												
家族・親戚(1)	0.640	0.295	2.17 *	0.211	0.686	0.380	1.80	0.271	-0.088	0.558	-0.16	-0.023
友人・知人(2)	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000
学校の先輩・先生・学校推薦(3)	0.702	0.243	2.89 **	0.391	0.346	0.344	1.01	0.221	1.161	0.359	3.23 **	0.587
求人機関・求人情報(4)	0.380	0.237	1.60	0.190	0.047	0.342	0.14	0.026	0.735	0.337	2.18 *	0.362
家業継承(5)	-0.062	0.267	-0.23	-0.021	-0.193	0.374	-0.52	-0.077	-0.145	0.394	-0.37	-0.040
起業(6)	0.610	0.401	1.52	0.077	0.605	0.516	1.17	0.096	0.530	0.645	0.82	0.046
勧誘・紹介(7)	0.487	0.377	1.29	0.059	0.376	0.445	0.85	0.060	-0.085	0.866	-0.10	-0.005
公務員試験・就職試験(8)	0.204	0.375	0.54	0.037	0.461	0.443	1.04	0.092	0.091	0.653	0.14	0.017
初職産業(a~i)												
第1次産業(a)	-0.877	0.841	-1.04	-0.210	-1.231	0.819	-1.50	-0.371	-2.038	0.455	-4.48 ***	-0.305
第2次産業(b)	0.777	0.287	2.70 **	0.422	0.705	0.369	1.91	0.451	-0.089	0.656	-0.14	-0.034
情報通信・運輸業(c)	0.565	0.823	0.69	0.172	0.456	0.771	0.59	0.167	0.352	0.319	1.10	0.084
卸・小売・宿泊・飲食・生活関連(d)	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000
金融保険・不動産(e)	1.445	0.413	3.50 ***	0.367	1.676	0.537	3.12 **	0.422	1.482	0.637	2.33 *	0.428
学術・専門・技術・教育(f)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医療・福祉(g)	0.494	0.358	1.38	0.177	-0.148	0.589	-0.25	-0.040	0.922	0.470	1.96	0.425
複合・その他(h)	0.555	0.580	0.96	0.143	0.348	0.590	0.59	0.110	1.095	0.855	1.28	0.210
公務(i)	0.713	0.402	1.77	0.245	0.220	0.516	0.43	0.082	0.965	0.650	1.48	0.333
交互作用												
1 b					-0.880	0.444	-1.98 *		-0.233			
3 e	-1.238	0.460	-2.69 **	-0.212	-1.537	0.595	-2.58 *		-0.255			
4 e	-1.031	0.455	-2.27 *	-0.180					-1.525	0.705	-2.16 *	-0.306

表 2 1 と表 2 2 の収入にかかわる分析では、入職してからの継続期間を統制している。表 2 1 では、「学術・専門・技術・教育」において多重共線性が生じるため、この分析に限り、その主効果・交互作用とも省いた。

表 2 2 転職後の現在の収入に関わる LSDV

転職後収入 Source	全体				男性				女性			
	Partial SS	df	MS	F	Partial SS	df	MS	F	Partial SS	df	MS	F
Model	1305.755	67	19.489	17.51 ***	589.861	64	9.217	8.57 ***	508.313	62	8.199	7.41 ***
転職入職経路	26.913	7	3.845	3.45 **	5.584	7	0.798	0.74	33.143	7	4.735	4.28 ***
転職後産業	30.136	8	3.767	3.38 **	24.867	8	3.108	2.89 **	23.015	8	2.877	2.60 **
交互作用	94.236	48	1.963	1.76 **	70.329	46	1.529	1.42 *	73.853	44	1.678	1.52 *
性別	290.182	1	290.182	260.74 ***								
年齢	158.735	1	158.735	142.63 ***	114.724	1	114.724	106.69 ***	45.728	1	45.728	41.33 ***
継続期間	66.638	1	66.638	59.88 ***	67.408	1	67.408	62.69 ***	19.617	1	19.617	17.73 ***
教育年数	90.964	1	90.964	81.73 ***	47.194	1	47.194	43.89 ***	39.429	1	39.429	35.63 ***
Residual	2757.853	2,478	1.113		1497.874	1,393	1.075		1134.190	1,025	1.107	
Total	4063.608	2,545	1.597		2087.735	1,457	1.433		1642.502	1,087	1.511	
	N	2,546	R ²	0.321	N	1,458	R ²	0.283	N	1,088	R ²	0.310
	F(67, 2478)	17.51 ***	Adj R ²	0.303	F(64, 1393)	8.57 ***	Adj R ²	0.250	F(62, 1025)	7.41 ***	Adj R ²	0.268
			Root MSE	1.055			Root MSE	1.037			Root MSE	1.052
転職後収入	Coef.	Std. Err.	t	Beta	Coef.	Std. Err.	t	Beta	Coef.	Std. Err.	t	Beta
定数	5.357	0.217	24.64 ***	.	5.486	0.282	19.48 ***	.	4.344	0.342	12.72 ***	.
性別												
女性	-0.772	0.048	-16.15 ***	-0.302								
年齢	-0.022	0.002	-11.94 ***	-0.237	-0.025	0.002	-10.33 ***	-0.280	-0.020	0.003	-6.43 ***	-0.208
継続期間	0.019	0.002	7.74 ***	0.160	0.024	0.003	7.92 ***	0.220	0.017	0.004	4.21 ***	0.149
教育年数	0.097	0.011	9.04 ***	0.169	0.087	0.013	6.62 ***	0.170	0.112	0.019	5.97 ***	0.179
転職入職経路(1~8)												
家族・親戚(1)	-0.070	0.221	-0.32	-0.014	-0.367	0.330	-1.11	-0.083	0.146	0.294	0.50	0.025
友人・知人(2)	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000
学校の先輩・先生・学校推薦(3)	0.521	0.413	1.26	0.061	0.756	0.543	1.39	0.094	0.256	0.625	0.41	0.031
求人機関・求人情報(4)	-0.186	0.130	-1.43	-0.071	-0.028	0.204	-0.13	-0.011	-0.278	0.168	-1.65	-0.113
家業継承(5)	-0.560	0.153	-3.67 ***	-0.147	-0.335	0.223	-1.50	-0.093	-0.773	0.208	-3.72 ***	-0.209
起業(6)	-0.418	0.160	-2.61 **	-0.105	-0.397	0.222	-1.79	-0.121	-0.456	0.231	-1.98 *	-0.083
勧誘・紹介(7)	0.327	0.203	1.61	0.073	0.424	0.270	1.57	0.107	0.245	0.308	0.80	0.050
公務員試験・就職試験(8)	-0.032	0.513	-0.06	-0.002	0.321	0.578	0.56	0.022	-1.323	1.054	-1.25	-0.103
転職後産業(a~i)												
第1次産業(a)	-0.650	0.389	-1.67	-0.116	-0.797	0.492	-1.62	-0.162	-0.362	0.625	-0.58	-0.058
第2次産業(b)	0.154	0.144	1.07	0.053	0.204	0.192	1.06	0.081	0.115	0.243	0.47	0.033
情報通信・運輸業(c)	0.358	0.189	1.90	0.074	0.384	0.228	1.68	0.097	0.448	0.453	0.99	0.066
卸・小売・宿泊・飲食・生活関連(d)	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000	0.000	(base)		0.000
金融保険・不動産(e)	-0.026	0.246	-0.10	-0.004	-0.155	0.330	-0.47	-0.024	0.208	0.363	0.57	0.034
学術・専門・技術・教育(f)	0.060	0.208	0.29	0.012	0.211	0.322	0.65	0.047	-0.057	0.269	-0.21	-0.012
医療・福祉(g)	0.303	0.153	1.98 *	0.082	-0.169	0.300	-0.56	-0.033	0.357	0.187	1.91	0.124
複合・その他(h)	-0.329	0.176	-1.87	-0.082	-0.337	0.241	-1.40	-0.095	-0.273	0.256	-1.07	-0.063
公務(i)	-0.061	0.389	-0.16	-0.008	0.298	0.454	0.66	0.041	-0.943	0.759	-1.24	-0.110
交互作用												
5 a									-1.481	0.667	-2.22 *	-0.207
5 h					0.861	0.405	2.13 *		0.068			
6 g					1.172	0.496	2.36 *		0.072			
7 i					-1.772	0.722	-2.45 *		-0.077			
8 h									2.605	1.307	1.99 *	0.091

表 2 3 初職の現在の職業威信に関わる LSDV

Source	全体				男性				女性					
	Partial SS	df	MS	F	Partial SS	df	MS	F	Partial SS	df	MS	F		
Model	37761.663	57	662.485	9.53 ***	28105.604	55	511.011	6.84 ***	12611.189	41	307.590	5.46 ***		
父親威信	1360.371	1	1360.371	19.58 ***	993.142	1	993.142	13.29 ***	367.078	1	367.078	6.51 ***		
初職入職経路	467.585	7	66.798	0.96	332.896	7	47.557	0.64	472.240	7	67.463	1.20		
初職産業	2857.239	8	357.155	5.14 ***	2813.963	8	351.745	4.71 ***	2069.265	8	258.658	4.59 ***		
交互作用	2815.862	37	76.104	1.10	3252.024	36	90.334	1.21	1170.996	22	53.227	0.94		
性別	355.861	1	355.861	5.12 *										
年齢	1476.035	1	1476.035	21.24 ***	1184.704	1	1184.704	15.85 ***	196.397	1	196.397	3.48		
継続年数	0.106	1	0.106	0.00	35.629	1	35.629	0.48	63.508	1	63.508	1.13		
教育年数	7904.634	1	7904.634	113.75 ***	6766.044	1	6766.044	90.53 ***	1005.947	1	1005.947	17.85 ***		
Residual	63236.679	910	69.491		45291.223	606	74.738		14878.161	264	56.357			
Total	100998.340	967	104.445		73396.827	661	111.039		27489.350	305	90.129			
	N	988		R ²	0.374	662		R ²	0.383	N	306		R ²	0.459
	F(57, 910)	9.53 ***		Adj R ²	0.335	F(55, 606)	6.84 ***	Adj R ²	0.327	F(41, 264)	5.46 ***	Adj R ²	0.375	
				Root MSE	8.336			Root MSE	8.645			Root MSE	7.507	
Source	Coef.	Std. Err.	t	Beta	Coef.	Std. Err.	t	Beta	Coef.	Std. Err.	t	Beta		
定数	12.693	3.631	3.50 ***		5.885	5.045	1.17		20.001	5.947	3.36 ***			
父親威信	0.127	0.029	4.42 ***	0.126	0.139	0.038	3.65 ***	0.128	0.111	0.044	2.55 **	0.128		
性別														
女性	-1.493	0.660	-2.26 *	-0.068										
年齢	0.117	0.025	4.61 ***	0.162	0.123	0.031	3.98 ***	0.161	0.097	0.052	1.87	0.144		
継続年数	0.001	0.030	0.04	0.001	-0.025	0.036	-0.69	-0.031	0.063	0.060	1.06	0.081		
教育年数	1.664	0.156	10.67 ***	0.341	1.775	0.187	9.51 ***	0.375	1.329	0.135	4.22 ***	0.249		
初職入職経路(1~8)														
家族・親戚(1)	2.551	3.417	0.75	0.074	9.557	4.831	1.98 *	0.283	-8.215	5.231	-1.57	-0.219		
友人・知人(2)	0.000 (base)			0.000	0.000 (base)			0.000	0.000 (base)			0.000		
学校の先輩・先生・学校推薦(3)	2.128	2.759	0.77	0.103	6.110	4.224	1.45	0.287	0.344	3.541	0.10	0.018		
求人機関・求人情報(4)	-2.679	2.728	-0.98	-0.116	1.633	4.325	0.38	0.065	-5.370	3.280	-1.64	-0.267		
家業継承(5)	2.680	2.922	0.92	0.083	8.525	4.445	1.92	0.269	-2.947	3.754	-0.78	-0.085		
起業(6)	-3.439	4.439	-0.77	-0.045	-3.494	7.243	-0.48	-0.042	-4.486	5.198	-0.86	-0.071		
勤誘・紹介(7)	1.627	4.181	0.39	0.018	7.347	5.475	1.34	0.085	-6.700	8.050	-0.83	-0.070		
公務員試験・就職試験(8)	-0.437	4.546	-0.10	-0.009	-2.209	5.484	-0.40	-0.041	5.837	8.074	0.72	0.133		
初職産業(a-i)														
第1次産業(a)	3.208	9.214	0.35	0.070	7.714	10.691	0.72	0.182	-1.870	4.146	-0.45	-0.027		
第2次産業(b)	6.647	3.227	2.06 *	0.307	12.006	4.537	2.65 **	0.562	-0.120	6.164	-0.02	-0.005		
情報通信・運輸業(c)	3.353	6.135	0.55	0.081	2.135	6.500	0.33	0.053	5.873	3.136	1.87	0.134		
卸・小売・宿泊・飲食・生活関連(d)	0.000 (base)			0.000	0.000 (base)			0.000	0.000 (base)			0.000		
金融保険・不動産(e)	-1.207	4.466	-0.27	-0.025	-8.794	6.498	-1.35	-0.162	7.391	5.799	1.27	0.188		
学術・専門・技術・教育(f)	18.299	8.695	2.10 *	0.566	22.536	9.486	2.38 *	0.619	7.165	9.032	0.79	0.275		
医療・福祉(g)	7.952	4.175	1.90	0.236	3.864	7.236	0.53	0.073	9.491	4.744	2.00 *	0.425		
複合・その他(h)	-2.082	8.697	-0.24	-0.043	2.450	9.492	0.26	0.054	13.429	7.860	1.71	0.212		
公務(i)	4.660	4.850	0.96	0.132	11.428	6.350	1.80	0.307	-5.240	8.093	-0.65	-0.167		
交互作用														
5 f	-24.196	10.617	-2.28 *	-0.108	-29.523	11.483	-2.57 *	-0.154						

表 2 3 と表 2 4 の職業威信にかかわる分析では、入職時ではなく現在の職業威信を用いた分析のみを記す。また、父親の主な職業の職業威信を統制している。

表 2 4 転職先の現在の職業威信に関わる LSDV

Source	全体				男性				女性						
	Partial SS	df	MS	F	Partial SS	df	MS	F	Partial SS	df	MS	F			
Model	72405.436	68	1064.786	14.48 ***	49484.661	65	761.302	10.15 ***	27141.463	63	430.817	6.24 ***			
父親威信	838.814	1	838.814	11.41 ***	1813.105	1	1813.105	24.18 ***	1.963	1	1.963	0.03			
転職入職経路	2107.446	7	301.064	4.10 ***	1209.176	7	172.739	2.30 *	1029.180	7	147.026	2.13 *			
転職先産業	9721.601	8	1215.200	16.53 ***	5165.852	8	645.731	8.61 ***	2920.046	8	365.006	5.29 ***			
交互作用	5253.772	48	109.454	1.49 *	5552.561	46	120.708	1.61 **	2922.146	44	66.412	0.96			
性別	2318.032	1	2318.032	31.53 ***											
年齢	42.197	1	42.197	0.57	0.102	1	0.102	0.00	238.467	1	238.467	3.45			
継続年数	1623.211	1	1623.211	22.08 ***	499.982	1	499.982	6.67 **	1198.853	1	1198.853	17.36 ***			
教育年数	12364.100	1	12364.100	168.19 ***	7918.497	1	7918.497	105.61 ***	3399.281	1	3399.281	49.22 ***			
Residual	174515.990	2374	73.511		101148.800	1349	74.981		66571.889	964	69.058				
Total	246921.430	2442	101.114		150633.460	1414	106.530		93713.351	1027	91.250				
	N	2443		R ²	0.293	N	1415		R ²	0.329	N	1028		R ²	0.290
	F(68, 2374)	14.48 ***		Adj R ²	0.273	F(65, 1349)	10.15 ***	Adj R ²	0.296	F(63, 964)	6.24 ***	Adj R ²	0.243		
				Root MSE	8.574			Root MSE	8.659			Root MSE	8.310		
Source	Coef.	Std. Err.	t	Beta	Coef.	Std. Err.	t	Beta	Coef.	Std. Err.	t	Beta			
定数	26.706	1.956	13.65 ***		21.817	2.603	8.38 ***		31.467	3.051	10.31 ***				
父親威信	0.069	0.020	3.38 ***	0.062	0.137	0.028	4.92 ***	0.119	-0.005	0.031	-0.17	-0.005			
性別															
女性	-2.223	0.396	-5.62 ***	-0.109											
年齢	-0.012	0.016	-0.76	-0.016	0.001	0.020	0.04	0.001	-0.047	0.025	-1.86	-0.065			
継続年数	0.090	0.019	4.70 ***	0.103	0.065	0.025	2.58 *	0.071	0.133	0.032	4.17 ***	0.165			
教育年数	1.196	0.092	12.97 ***	0.262	1.188	0.116	10.28 ***	0.269	1.105	0.158	7.02 ***	0.230			
転職入職経路(1~8)															
家族・親戚(1)	0.474	1.803	0.26	0.012	1.490	2.784	0.54	0.039	-0.180	2.313	-0.08	-0.004			
友人・知人(2)	0.000 (base)			0.000	0.000 (base)			0.000	0.000 (base)			0.000			
学校の先輩・先生・学校推薦(3)	3.646	3.617	1.01	0.054	7.963	5.203	1.53	0.113	-0.400	4.939	-0.08	-0.006			
求人機関・求人情報(4)	-0.587	1.081	-0.54	-0.028	-0.457	1.769	-0.26	-0.020	-0.846	1.342	-0.63	-0.044			
家業継承(5)	1.394	1.227	1.13	0.048	5.406	1.852	2.92 **	0.180	-2.359	1.624	-1.45	-0.087			
起業(6)	3.370	1.268	2.66 **	0.109	5.231	1.817	2.88 **	0.189	1.355	1.810	0.75	0.032			
勤誘・紹介(7)	1.494	1.707	0.88	0.042	1.919	2.363	0.81	0.056	1.228	2.496	0.49	0.031			
公務員試験・就職試験(8)	3.861	3.944	0.98	0.035	1.750	4.637	0.38	0.014	10.303	7.602	1.36	0.111			
転職先産業(a-i)															
第1次産業(a)	6.354	3.371	1.89	0.150	6.932	4.132	1.68	0.162	7.522	5.992	1.26	0.183			
第2次産業(b)	2.865	1.197	2.39 *	0.124	4.866	1.664	2.92 **	0.223	-0.530	2.011	-0.26	-0.019			
情報通信・運輸業(c)	2.233	1.563	1.43	0.057	3.640	1.982	1.84	0.105	0.565	3.344	0.17	0.011			
卸・小売・宿泊・飲食・生活関連(d)	0.000 (base)			0.000	0.000 (base)			0.000	0.000 (base)			0.000			
金融保険・不動産(e)	5.560	2.002	2.78 **	0.106	6.106	2.786	2.19 *	0.111	5.168	2.868	1.80	0.107			
学術・専門・技術・教育(f)	10.215	1.712	5.97 ***	0.269	13.215	2.592	5.10 ***	0.340	8.014	2.240	3.58 ***	0.221			
医療・福祉(g)	9.358	1.289	7.26 ***	0.316	10.959	2.533	4.33 ***	0.255	8.677	1.513	5.74 ***	0.383			
複合・その他(h)	-0.286	1.501	-0.19	-0.009	0.141	2.166	0.07	0.004	-0.005	2.073	0.00	0.000			
公務(i)	0.951	2.859	0.33	0.015	2.385	3.566	0.67	0.039	0.304	4.943	0.06	0.005			
交互作用															
3 c	18.015	7.180	2.51 *	0.051											
3 g					-17.293	7.518	-2.30 *	-0.077							
4 i	8.020	3.339	2.40 *	0.085	10.978	4.432	2.48 *	0.102							

継続期間

表19, 表20の初職および転職後の継続期間については, 性別・年齢・教育年数という個人属性の効果が大きい。性別については女性の方が長く, 年齢については高い方が長く, 教育年数は長い方が短い。初職については, 入職経路と産業の効果はあまり高くない(10%水準の有意傾向)が, 転職先については, 両方とも効果が高い。また, 初職も転職先も, 入職経路と産業の交互作用効果は高い。

・継続期間にかかわる主効果

初職の入職経路の効果はあまり高くないが, その内容をみると, 「家業継承」に正の主効果がある。また, 初職の産業の効果もあまり高くないが, その内容をみると, 「第1次産業」において, 全体と男性とで負の主効果がみられ, 女性では正の主効果がみられる。また, 「情報通信・運輸業」において, 全体と男性で正の主効果がみられる。

・「第1次産業」の継続期間

ここで注目したいのは, 初職における「第1次産業」である。表11と表12においては, 「第1次産業」の継続期間は全体, 男女ともに長かった。しかし, 表19と表20では, 前段落で指摘したように, 全体と男性においては, 「第1次産業」の継続期間に対する主効果は負となっている。ここで交互作用効果に注目する。「第1次産業」と「家族・親戚」, 「学校の先輩・先生・学校推薦」, 「求人機関・求人情報」, 「家業継承」との交互作用効果が正となっている¹⁶。つまり, 交互作用効果のあるものについて, その効果が正ではあるが, どれも値がかなり程度が違うことから, このような結果となっているわけである。つまり, 「第1次産業」は, 基本的には継続期間を減らす効果があるが(たとえば, 全体で-31.2年), これらの交互作用のある入職経路による場合には, 負の効果を相殺して正に転じるほどの正の効果があり, その程度はそれぞれ違うというわけである(たとえば, 「家族・親戚」の場合, 全体で+48.2年, 「学校の先輩・先生・学校推薦」の場合, 全体で+32.6年など)。他方, 女性においては, 「第1次産業」の主効果がそもそも正であり, 入職経路による主効果はなく, 「第1次産業」にかかわる有意な交互作用効果もない。

このような主効果と交互作用で正負の向きが違う現象は, 他にもみられる。初職の全体および男性の「情報通信・運輸業」については, 正の主効果と負の交互作用が, 初職の女性の「第2次産業」については, 負の主効果と正の交互作用が生じている。

次に, 転職先の継続期間についてだが, 表12では, 全体, 男女ともに「第1次産業」の

¹⁶ ここに交互作用が上がっていないものには, 交互作用効果がないわけではない点に注意すべきである。「友人・知人」は基準カテゴリであるし, (表からは省かれているが)「起業」, 「勧誘・紹介」, 「公務員試験・採用試験」との交互作用については, 該当するケース数が0または1なので計算されない(0の場合 empty, 分散が計算されない1の場合 omitted)となるのである。ケース数が複数あって効果がないということとは, 区別しなければならない。

継続期間は長いですが、表20では、その主効果は有意ではないがいずれも負となっている。これに対して「第1次産業」と「家族・親戚」の交互作用効果は、全体と女性において正となっている。男性の場合には、「家業継承」の主効果が正である（これは、全体も女性も正である）。男性の場合は、「第1次産業」は、家業継承として転職する側面が強く、女性の場合は、さらに配偶者の都合という側面が加わるのだろう。

・その他

表12では、「情報通信・運輸業」の継続期間は、全体において短いとされていたが、表20では、主効果は正だが有意ではなく（+2.3年）、これと「家業継承」、「起業」の交互作用が負となっている（同順で、-15.6年と-8.9年）。

収入

次に、表21と表22で初職および転職後の収入についてであるが、これらの分析においては、年齢に加えて継続期間も影響があると予想されることから、継続期間も投入した。

・収入にかかわる全体的な様相

初職でも転職後でも、性別・年齢・教育年数という個人属性の効果が大きいですが、継続期間の効果は転職後のみに認められた。初職の収入については、男性の方が高く、年齢が高い方が高く、教育年数の長い方が高い。転職後については、男性の方が高く、年齢が低い方が高く、継続期間は長い方が高く、教育年数の長い方が高い。

入職経路については、女性には初職でも転職後でも収入に対する効果があるが、男性の場合には効果がなかった。またF値から、転職後の方が入職経路の収入に対する効果が強まるので、転職後は全体においても入職経路が有意になっている。初職も転職も、産業の効果は、全体、男女ともある。また、入職経路と産業の交互作用効果は、初職については女性のみにもみられ、転職後については全体にも男女別にもみられる。

・入職経路と収入

表5と表6から、初職・転職を問わず、「家業継承」の場合に収入が低かった。表21からは、初職については「家業継承」の係数の値は負であるが有意にはなっていない。一方、表22からは、転職後については、全体と女性について「家業継承」は負の効果がみられる（男性については、負ではあるが有意ではない）。

入職経路については、これ以外に、表21と表22より、初職の場合に、女性が「学校の先輩・先生・学校推薦」や「求人機関・求人情報」を利用した場合に収入が高くなり、「学校の先輩・先生・学校推薦」については、全体でも効果が認められる。また、全体として「家族・親戚」の紹介の場合に正に有意となっている。

・「第1次産業」と収入

表13と表14から、「第1次産業」の収入が低かった。表21と表22からは、「第1次

産業」の収入については、初職の女性の場合に負の効果がみられたが、それ以外の場合には負ではあるが有意ではない。初職の男性の場合の明確なメカニズムはわからない。表14にみられた転職後の全体と女性における「第1次産業」の収入の低さについては、「第1次産業」それ自体よりも「家業継承」によるものと考えられるが、男性については、明確なメカニズムはわからない。

・「金融保険・不動産」と収入

表13と表14では、初職においては、「金融保険・不動産」は男性のみで高く、転職後においては、男性で低めであった。表21と表22からは、初職における全体と男女で「金融保険・不動産」の正の主効果が認められるが、転職後においてはいずれも主効果は認められない。また、初職においては、「金融保険・不動産」と「学校の先輩・先生・学校推薦」の負の交互作用効果が、全体と男性において認められ、「金融保険・不動産」と「求人機関・求人情報」の負の交互作用が、全体と女性において認められる。このような正の主効果と負の交互作用が合わさり、初職の「金融保険・不動産」の収入は、表13でみたように男性のみで高くなると考えられる。転職後においては、表14でみたように男性のみで低くなる。表22では、男性だけでなく女性でも全体でも有意ではないが「金融保険・不動産」の係数は負であるが、それ以外に明確なメカニズムはわからない。

・「第2次産業」と収入

表13と表14から、初職でも転職でも、「第2次産業」は、「公務」と「情報通信・運輸業」に次いで収入が高かった。初職においては、「第2次産業」で「家族・親戚」の紹介を受けると負の交互作用がみられた。転職後においては、男性では、「複合・その他」と「家業継承」に正、「医療・福祉」と「起業」に正、「公務」と「勧誘・紹介」に負の交互作用がみられ、女性では、「第1次産業」と「家業継承」に負、「複合・その他」で「公務員試験・採用試験」に正の交互作用がみられた。

・その他

表13と表14から、第3次産業の中では収入の高低があり、初職では「卸・小売・宿泊・飲食・生活関連」と「医療・福祉」が低く、転職では「卸・小売・宿泊・飲食・生活関連」と「複合・その他」が低かった。

職業威信

最後に、表23と表24の職業威信についてである。この表は初職または転職先における現在の職業の職業威信であり、入職時の職業威信ではない（それは冗長のため省略する）。

・初職

初職の場合、性別、年齢（全体と男性の場合）、教育年数という個人属性が有意である。男性の方が威信が高く、男女とも教育年数が長い方が威信が高く、男性の場合は、年齢が高い

方が威信が高い。産業は有意であるが、入職経路と交互作用は有意ではない。

詳細をみると、入職経路については、男性に「家族・親戚」からの紹介の場合のみ正の主効果がみられる。産業については、全体と男性に、「第2次産業」と「学術・専門・技術・教育」の場合に正の主効果がみられる。ただし、「学術・専門・技術・教育」でも「家業継承」の場合には負の交互作用がみられる。女性には、「医療・福祉」の場合に正の主効果がみられる。このうち表18と共通するのは、「学術・専門・技術・教育」の職業威信が高いことである。

・ 転職

転職の場合、性別、教育年数という個人属性と、勤続年数が有意である。男性の方が威信が高く、教育年数が長い方が威信が高い。また、勤続年数も長い方が威信が高い。初職とは違い、年齢よりも勤続年数が重要であることがわかる。入職経路は有意ではなく、産業は有意である。交互作用効果は、全体と男性において有意である。

詳細をみると、入職経路については、男性に「家業継承」の正の主効果がみられ、全体と男性に「起業」の正の主効果がみられる。産業については、全体、男女とも「学術・専門・技術・教育」と「医療・福祉」に正の主効果がみられ、全体と男性に「第2次産業」と「金融保険・不動産」の正の主効果がみられる。このうち、表18と共通するのは、「学術・専門・技術・教育」と「医療・福祉」の職業威信が高いことである。

交互作用は複雑である。全体、男性、女性で共通したものはあまりみられない。全体と男性に共通するのは3つで、「公務」に「公務員試験・採用試験」で転職した場合に正、「金融保険・不動産」を「家業継承」した場合に負、「医療・福祉」で「起業」した場合に負の交互作用効果がみられる。このうち、後2者は、前段落で記した正の主効果を打ち消す効果であるといえる。

男性においては、「医療・福祉」に「学校の先輩・先生・学校推薦」によって転職した場合に負の、「学術・専門・技術・教育」を「家業継承」した場合に負の、「金融保険・不動産」を「起業」した場合に負の交互作用効果がみられる。女性においては、「第2次産業」を「家業継承」した場合に正の交互作用効果がみられる。全体では、「情報通信・運輸業」に「学校の先輩・先生・学校推薦」によって転職した場合に正の、「医療・福祉」を「家業継承」した場合に負の、「公務」に「勧誘・紹介」で転職した場合に正の交互作用効果がみられる。

表24の結果と、表10・表18の結果とを比較すると、上で指摘した表18との共通点を除けば、あまり一貫性はないように思われる。これは、上述の複雑な交互作用によるものと考えられる。また、初職には交互作用はほとんどみられず、比較的単純な構造だが、転職の場合には産業と入職経路が複雑に関係していることがわかる。

4. 全体考察

「血縁関係」は不利なのか？

1995年SSM調査を用いた佐藤(1998)と、2005年SSM調査を用いた小林(2008)と、結果を比較したい。彼らの分析では、従属変数は職業威信とされている。本稿では、入職経路について新たな分類を用いることにした点で違っている。

佐藤(1998)では、初職の場合、男性では血縁関係に負の効果が、女性では個人的紐帯と血縁関係に負の効果がみられた。転職の場合、男性において、学校関係の正の効果がみられた。小林(2008)では、初職の場合、学校関係に正の、血縁関係に負の、短大以上と個人的紐帯の交互作用に負の効果がみられた。転職の場合、入職経路にかかわる変数で5%水準で有意となるものはなかった。初職においては、血縁関係においていずれも負の効果がみられたが、転職においては一貫した傾向はみられなかった。

本稿の分析では、表7～表10の単純な一要因分散分析においても、表23と表24のLSDVにおいても、同様の結果は再現されなかった。佐藤や小林の用いた「血縁関係」は、本稿でいえば「家族・親戚」と「家業継承」とを合成したものである。これらが分割されたことで各カテゴリの人数が少なくなり、有意にならなかった可能性が考えられる。初職の入職時の職業威信(表7)については、その可能性がある。しかし、初職の現在の職業威信(表9)については、「家族・親戚」の値は全体平均よりもやや小さいものの、「家業継承」の値は全体平均よりもやや大きく、こちらの方が人数も多いので、「血縁関係」は職業威信に対して負の関係を示さなかったといえる。また、表23のLSDVにおいては、男性の場合に「家族・親戚」は有意な正の効果がある。さて、小林は、入職時ではなく現在の職業威信を使って分析していることを明記している。ここから考えると、(少なくとも)地位達成を職業威信という側面からみた場合、2005年でみられた初職の「血縁関係」を通じた就職による不利は2015年では解消されたといえるだろう。

しかし、初職の「家族・親戚」や「家業継承」を継続期間(表19)や収入(表21)という側面からみると、また別の様相が現れる。まず継続期間についてみてみよう。「家族・親戚」からの紹介の場合、主効果は有意ではないが、交互作用効果が認められる。全体または男性の場合、第1次産業ならば継続期間は長くなり、情報通信・運輸業なら短くなる。女性の場合、第2次産業ならば長くなる。また、「家業継承」の場合、全体と男性で主効果が正に有意である¹⁷。交互作用効果もあり、全体と男性の場合、第1次産業ならば継続期間は長くなる。

次に、収入についてみてみよう。「家族・親戚」からの紹介の場合、全体で主効果が正に有

¹⁷ 女性も表3においては、「家業継承」の継続期間は有意に長い。表19においては、係数の値は正であるが有意ではない。これは、該当する人数が少ない(26人)ためと考えられる。男女込みの全体においては継続期間は長いということは、そのとおり受け取ってよいだろう。

意、男性で主効果 ($t = 1.80$) が 10%水準で正に有意傾向である¹⁸。交互作用効果もあり、男性で第2次産業の場合、収入は低くなる。「家業継承」の場合には、特に効果はない。

このように、初職の継続期間と収入の主効果という側面からみると、「家業継承」の場合に、全体的に長くなり、「家族・親戚」からの紹介の場合に、男性の場合収入が高くなる傾向がある¹⁹。したがって、初職について、佐藤や小林の設定した「血縁関係」カテゴリについては、職業威信という側面からは低いということはもはやなく、逆に、継続期間という側面からは「家業継承」は長期的であり、収入という側面からは「家族・親戚」からの紹介は男性の場合には高くなる傾向があるということになる。これらの諸側面をふまえれば、初職を「血縁関係」からの紹介に頼ることは、むしろ有利だと考えられる。見方を変えれば、初職として「家族・親戚」から紹介されるような仕事は、今後とも安定性が見込まれるものであったり、親が子に「家業継承」させても、今後とも収入が見込めると思っていたりするものであることが多いと考えられる。

社会関係資本のダークサイド

第1節において、継続期間は長くなるが、収入は低いような状態が生じるのであれば、継続期間の長さのみからジョブマッチングがうまくいったとはとてもいえないとした。また、媒介が「家族・親戚」からの紹介、「友人・知人」からの紹介、「学校の先輩・先生・学校推薦」のうちインフォーマルな関係、親（「家業継承」）である場合には、社会関係資本にはダークサイドがあることを示すことになる。では、そういうケースがあったかどうか検討してみよう。

同じ入職経路の主効果が、継続期間に対して正、収入に対して負の効果を持つようなものがあるかをみてみると、初職（表19と表21）においては、そのようなものはないが、転職後（表20と表22）においては、全体と女性が「家業継承」もしくは「起業」する場合がこれにあたる。また、男性も「起業」の場合、収入は10%有意傾向まで含めればこれにあたる。これらのうち、全体と女性が「家業継承」する場合（社会関係資本を利用する場合）は、社会関係資本のダークサイドに陥るケースに該当するといえよう。

社会関係資本の地位達成への効果

表21から表24のLSDVでは、「友人・知人」からの紹介を基準カテゴリとして置いた。

¹⁸ 表5より、男性の場合、「家族・親戚」からの紹介によって収入は高くなる傾向があるが、女性の場合はそうではない。しかし、このカテゴリに該当する人数が男性の方がずっと多い（74人対19人）ため、表21では、男性の主効果の係数は10%有意傾向にとどまるが、全体では5%水準で有意となる。したがって、「家族・親戚」からの紹介によって収入が高くなる傾向があるのは、あくまでも男性のみであることに注意しなければならない。

¹⁹ 収入については、交互作用効果も加味すると一概にはいえない。

そこで、このカテゴリに比して、「家族・親戚」の紹介や、「家業継承」、「学校の先輩・先生・学校推薦」の中で先生からの紹介を受けた場合に、有意に正または負の効果がみられれば、入職経路として社会関係資本の中で効果の程度に違いがあることになる。また、他のカテゴリで有意に正または負の効果がみられれば、そのカテゴリが「友人・知人」という社会関係資本のインフォーマルな側面と比べて、効果の程度に違いがあることになる。

たとえば、継続期間については、初職で、全体または男性の場合、「家業継承」の主効果が正に有意であるので、社会関係資本の中にも継続期間に対して効果に違いがあることを示している。同様に、転職では、「家業継承」と「起業」の主効果が正に有意であるので、社会関係資本のインフォーマルな側面と「起業」との間に、程度の違いがあることになる。

「友人・知人」と「家族・親戚」もしくは「家業継承」との間に主効果の違いがみられるのは、転職先の継続期間において「家業継承」が正、初職の収入において「家族・親戚」が正（全体的場合）、転職後の収入において「家業継承」が負（全体的場合）、初職の職業威信において「家族・親戚」が正（男性の場合）、転職先の職業威信において「家業継承」が正（男性の場合）、の5つの場合である。一貫した傾向があるようには思えないが、「友人・知人」からの紹介と「家業継承」には違いがみられるものがあるが、「友人・知人」からの紹介と「家族・親戚」からの紹介の間には、ほとんど違いはみられない。ここから、現代日本においては、紹介をすとなれば、家族・親戚だろうが友人・知人だろうが、およそ等しく熱意を持って紹介しようとする様子がうかがえる。

社会関係資本のインフォーマルな側面である「友人・知人」からの紹介と、社会関係資本以外の入職経路との間に主効果の違いがみられるのは、転職先の継続期間において「起業」が正、初職の収入において「求人機関・求人情報」が正（女性の場合）、転職後の収入において「起業」が負（女性の場合）、転職先の職業威信において「起業」が正（全体的場合）、の4つの場合である。そのうち3つの場合に「友人・知人」と「起業」との間に違いがみられ、その2つが正、1つが負であった。起業には良いも悪いもリスクが伴うことがみてとれる一方、逆にいうと、インフォーマルな社会関係資本の利用には、他の入職経路と比べて大きく違いはないことから、それほどリスクは伴わないということにもなる。「友人・知人」からの紹介があまりリスクを伴わないのは、紹介する側は、紹介するまでにさまざまな思慮をめぐらせ、紹介される側も、紹介者に報いようと相応の努力をするからだろう。

交互作用

主効果は正（負）だが、その変数を含んだ交互作用効果が負（正）であるようなケースがみられた。このようなケースは少ないが、たとえば、男性の場合、初職の継続期間に対する「第1次産業」がそうである（表19）。このケースでは、主効果は負であるが、「第1次産業」と「家族・親戚」の交互作用が正である。つまり、一般的には、男性が第1次産業に初

職で入職すると長続きしない（係数は-31.220）が、「家族・親戚」の紹介による場合には、とても長く継続する（係数は48.219）ので、全体としては、表11にみるように、第1次産業の継続期間は、他の産業よりずっと長くなるのである。このことは、交互作用を考えなければ発見できなかった可能性がある。これを含めて、主効果は正（負）だが、その変数を含んだ交互作用効果が負（正）であるようなケースは、それまでに当然視されていた関係が、自明ではなかったことを示してくれる。

また、交互作用効果がたくさん発見されることは、独立変数と従属変数との関係が主効果の組み合わせだけではなく複雑であることを表している。初職の継続期間や転職先の職業威信などはそのようなケースである。

このように、交互作用効果に着目することで、さまざまな特殊事情があぶり出される。

入職経路カテゴリの変更にかかわる評価

本稿では、佐藤（1998）が用いた入職経路のカテゴリ分類を見直し、社会関係資本や関係のフォーマリティの観点から、より細かい分類とした。そのような再分類は有効だったのだろうか？ この全体考察の冒頭では、従来「血縁関係」としてまとめられていたカテゴリを「家族・親戚」からの紹介と「家業継承」とに分けたことで発見できたことがあった。また、従来の「直接参入」を「求人機関・求人情報」と「起業」に分類した。これについては、転職後の継続期間について、「起業」が正に有意なのに対して、「求人機関・求人情報」は有意ではないが係数が負の値を取るなど、きわだった差異が生じることもあった。また、従来の「個人的関係」を「友人・知人」からの紹介と「勧誘・紹介」に分類した。分析結果からは「友人・知人」と「勧誘・紹介」で有意な違いが出ることはなかったが、解釈において「友人・知人」からの効果について積極的に解釈することができるようになった。一方で、カテゴリを細分類することによって、有意な結果が出にくくなったり、交互作用項の中には、そのカテゴリに該当する人がいないという望ましくないところもあった。しかし、全体としては、各カテゴリにある程度の人数を確保して、有意な結果を導出できるようなカテゴリ変更だったと評価できるだろう。

有期－無期、ないし正規－非正規の軸を入れてみる必要性

産業カテゴリについては、必要なカテゴリ統合を行うことによって、本稿のような分類とした。しかしながら、サービス産業化にかかわる分析をより精緻に行うためには、産業カテゴリに雇用の有期－無期、ないし正規－非正規の区分をクロスさせてみる（交互作用を考える）ことも必要ではないかとも考えた。しかし、これについては、各カテゴリの該当者数を確保することが問題になるので、またの機会としたい。

引用文献

- Blau, Peter M. and Otis. D. Duncan, 1967, *The American Occupational Structure*, Wiley.
- Granovetter, Mark, 1973, “The strength of weak ties,” *American Journal of Sociology*, 78: 1360 – 1380.
- Granovetter, Mark, 1974, *Getting a Job: A Study in Contacts and Careers*, Harvard University Press.
(= 1998, 渡辺深訳『転職：ネットワークとキャリアの研究』ミネルヴァ書房.)
- 石田光規, 2008, 「入職経路としてのネットワークの効果」『2005年SSMシリーズ4 働き方とキャリア形成』2005年SSM調査研究会: 21 – 36.
- 荻谷剛彦, 1991, 『学校・職業・選抜の社会学：高卒就職の日本的メカニズム』東京大学出版会.
- 荻谷剛彦・沖津由紀・吉原恵子・近藤尚・中村高康, 1992, 「先輩後輩関係に“埋め込まれた”大卒就職」『東京大学教育学部紀要』32: 89 – 11.
- Kariya, Takehiko and James E. Rosenbaum, 1995, “Institutional linkages between education and works as quasi-internal labor markets,” *Research in Social Stratification and Mobility*, 14: 99 – 134.
- 小林盾, 2008, 「学歴か縁故か：初職と転職への効果」渡辺勉編『2005年SSM調査シリーズ3 世代間移動と世代内移動』2005年SSM調査研究会: 241 – 256.
- Lin, Nan, 2001, *Social Capital: A Theory of Social Structure and Action*, Cambridge University Press.
(= 2008, 筒井淳也・石田光規・桜井政成・三輪哲・土岐智賀子訳『ソーシャル・キャピタル：社会構造と行為の理論』ミネルヴァ書房.)
- Lin, Nan, Walter M. Ensel and John C. Vaughn, 1981, “Social resources and strength of ties: structural factors in occupational status attainment” *American Sociological Review*, 46(4): 393 – 405.
- Marsden, Peter V. and Jeanne S. Hurlbert, 1988, “Social resources and mobility outcomes: a replication and extension,” *Social Forces*, 66(4): 1038 – 1059.
- 長松奈美江, 2016, 「サービス産業化がもたらす働き方の変化：『仕事の質』に注目して」『日本労働研究雑誌』58(1): 27 – 39.
- 佐藤嘉倫, 1998, 「地位達成過程と社会構造：制度的連結理論の批判的再検討」『日本労働研究雑誌』40(7): 27 – 40.
- 渡辺深, 1991, 「転職：転職結果に及ぼすネットワークの効果」『社会学評論』42(1, 2): 2 – 16.

Effects of Contacts and Industries on Status Attainment: Examining the Efficiency of Social Capital

**Ryuhei Tsuji
(Kindai University)**

Abstract

This paper discusses whether there are any advantages or disadvantages in status attained by individuals depending on the types of contacts from whom the job seekers ask for job information or help. It also reports whether the industries entered make any difference in the relationship between the contacts and status attainment. We examined status attainment from three aspects, such as the duration of employment, income, and occupational prestige, and we used 10 kinds of contacts for this purpose. As a part of the research, we examined the advantage or disadvantage of utilizing social capital in status attainment. SSM 2015 data were used in the analysis. First, we showed the differences in status attainment in terms of contacts or industries by simple one-way ANOVA. Then, we conducted a series of LSDV (least-squares dummy variables) analyses with three aspects of status attainment as dependent variables, and individual attributes, main and interaction effects of contacts and industries as independent variables. The LSDV analyses showed the following. First, the disadvantage of “blood relation” had been diminished since 2005. Second, the level of status attainment by receiving information from “friends or acquaintances” was almost the same as the level attained by receiving information from “family or relatives.” Third, we found a case that indicates the existence of a dark side of social capital where those who succeeded their family business as the second or latter job stayed in the job longer than average but earned less income than the average.

Keywords: indices of status attainment, classification of contacts, interaction effects between contacts and industries, dark side of social capital